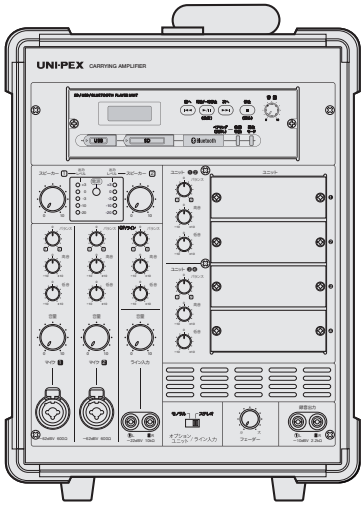
UNI-PEX

取扱説明書(保証書付)



CGA-200B
(CGA-200にはSD/USB/Bluetooth®プレーヤーユニットは付いていません。)

定格出力100W (4Ω) ×2

キャリングアンプ

SD/USB/Bluetooth®プレーヤー付

CGA-200B　CGA-200

このたびは、当社の製品をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

音源ファイル再生上のご注意（CGA-200Bのみ）

音源ファイルについてはデータ書込みの状態、及び使用メディアの性能・品質などにより、正常に再生できない場合がありますので、ご使用に際しては充分ご注意ください。

Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth　SIG,Inc.が所有する登録商標で、日本電音株式会社はこれらの商標を使用する許可を受けています。

目　次

安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・1〜3
設置・使用上のご注意・・・・・・・・・・・・4
各部の名称と説明(前面)・・・・・・・・・・5、6
各部の名称と説明(後面)・・・・・・・・・・・7
スピーカーの接続方法・・・・・・・・・・・・8
別売ワイヤレスチューナーユニットの説明・・・9〜11
接続例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
キャノンタイプコネクターの説明・・・・・・・13
SD/USB/Bluetooth®プレーヤー部の説明・・14〜29
点検方法・・・・・・・・・・・・・・・・・30〜32
著作権法について・・・・・・・・・・・・・・32
定格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
外観寸法図・・・・・・・・・・・・・・・・・34
SDカード/USBメモリーファイルリスト・・・35
サポートのご案内・・・・・・・・・・・・・・36
保証書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。

分解／改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。

異物を入れない／濡らさない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。(雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。)

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

通風孔をふさがない
通風孔をふさぐ、ものを掛けたり通風を悪くすると内部に熱がこもり火災の原因となります。

電源コードを傷つけない
電源コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったりすると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)販売店などに交換をご依頼ください。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない
火災・感電の原因となります。

この機器の上に花瓶など水の入ったものを置かない
こぼれたり中に水が入った場合、火災・感電の原因となります。

AC接続コードは機器に付属の物、または指定の物以外は使用しない
火災・感電の原因となります。

屋外で使用中に雷が鳴り出したら、使用しない
落雷の原因となります。使用を中止し、機器から離れてください。

表示部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない
事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。

ワイヤレスマイクを危険作業の誘導などに使用しない
場所や距離や周囲の雑音条件によっては電波が到達しなかったり、瞬間的に電波が遮られたりして放送が途切れたりして、作業の指示などが完全には伝達できない場合があり、事故の原因となることがあります。

定期点検を実施する
専門の業者(技術者)による定期点検を実施してください。特に経年劣化には充分ご注意ください。
異常があれば、ただちに使用をやめ、販売店などにご連絡ください。

取付作業、及びお手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因となることがあります。

SDカードやUSBメモリーは、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない
火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所に置かない
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

電源コード、スピーカーコードを熱器具に近づけない
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

異常に温度が高くなる場所に放置しない
窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
火災の原因となることがあります。

電源を入れる前には音量を最小にする
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

樹脂加工部に対してベンジンやシンナーなどの溶剤を使用して清掃しない また、タバコなどの火を近づけない
部品変形により故障して、火災などの原因となることがあります。

長時間音が歪んだ状態で使わない
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

濡れた手で、電源コードを抜き差ししない
感電の原因となります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
コードが傷つき、火災、感電の原因となります。必ずプラグを持って抜いてください。

使用中又は使用後すぐに後面パネルにさわらない
後面パネルが熱くなっている場合がありますので、やけどの原因となることがあります。

使用中は筐体ふたを取り付けない
内部に熱がこもり火災の原因となります。

移動の際は必ず筐体ふたを確実に取り付けて持ち運ぶ
落下やけがの原因となることがあります。

移動の際は必ず正立した状態で移動する
故障して、火災などの原因となることがあります。

移動するときは、コード類を傷つけない
移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

この機器に乗ったり腰掛けたりしない
特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

SDカード・USBメモリー挿入口に異物を入れない
火災や感電の原因となることがあります。

廃棄は専門業者に依頼する
燃やすと化学物質などで目を傷めたり、火災ややけどの原因となります。

オーディオ機器、外部スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。

1年に一回程度は、内部の掃除を販売店や工事店などにご相談ください。内部にほこりがたまった状態で、長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご依頼先にご相談ください。

設置･使用上のご注意

●本機を使用するときは本箱など箱状の中に入れて使用しないでください。必ず、風通しの良い場所に置いて使用してください。
●本機を水滴または飛沫のかかる場所で使用しないでください。
●使用中に強い衝撃や振動を加えないでください。音切れや故障の原因となることがあります。
●本機を雑音発生の原因になる機器（場所）※の近くには設置しないでください。
※高周波機器（乾燥機､医療機器など）、電気溶接機、ブラッシングモーター、自動車の通る道、携帯電話機、デジタル機器(コンピューター、電子楽器など)、空気清浄器など。
●本機の電源スイッチが「切」でも電源に接続していますと、雑音防止回路にのみ通電状態が続きます。
●スピーカーコードとマイクロホンコードは束ねずに離して使用してください。

保護回路について

●本機の電源表示灯が赤色（正常時緑色）の点灯を続ける場合はスピーカー出力が短絡して保護回路が動作しています。その場合は電源を切り、スピーカー出力の短絡箇所をを調べ原因を取り除いてください。

遮断装置について

●本機は電源プラグが遮断装置になります。
●本機は遮断装置へ容易に手が届くように、電源コンセントの近くで使用してください。

移動(輸送)時について

●本機の移動時は前面と後面にふたを確実に取り付けてください。前面には、「 UNI-PEX 」のロゴマークが印刷されたふたを取り付けてください。
また、移動時に横倒しにしたり、上下逆にしないでください。必ず正立した状態で移動してください。

免責事項について

当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
①お客さまの故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害または本製品の破損など
②本製品に直接または間接に関連して生じた、偶発的、特殊的、または結果的損害･被害
③本製品のお客さまご自身による修理、分解または改造が行なわれた場合、それに起因するかどうかを問わず、発生した一切の故障または不具合により生じた損害
④本製品の故障･不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなどによる不便･損害･被害
⑤第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便･損害･被害

本機を長期間お使いの場合

本機を安全に使用していただくために、販売店または工事業者による定期的な点検をおすすめします。外観上は異常がなくても、使用条件によっては部品が著しく劣化している可能性があり故障したり、事故の原因となることがあります。下記❶～❹の様な状態ではないか日常的に確認してください。もしその様な状態を発見されましたら直ちに電源を切り（使用中止）、販売店または工事業者に点検や撤去をご依頼ください。特に10年を超えて使用されている場合は、定期点検の回数を増やしていただくとともに買い換えの検討をお願いします。

❶煙が出たり、こげ臭いにおいや異常な音がしている。
❷接続コード･コネクターが異常に熱い。または亀裂や傷がある。
❸本機に触れるとビリビリと電気を感じる。
❹電源を入れても音が出てこない、その他の異常･故障がある。

各部の名称と説明（前面）

（図はSD/USB/Bluetooth®プレーヤー付 CGA-200Bです。）

電源表示灯

後面の電源スイッチを押して電源を入れると、約3秒間赤色に点灯した後、緑色の点灯を続けます。スピーカー出力が短絡した場合は保護回路が動作し赤色の点灯を続けます。その場合は電源を切り、スピーカー出力の短絡箇所を調べ原因を取り除いてください。

スピーカー2音量調節つまみ

スピーカー2出力（❸❹）に接続されたスピーカーの音量を調節します。

SD/USB/Bluetooth®プレーヤー部

P.14～31の説明をご覧ください。 CGA-200B

ブランクパネル CGA-200

別売のSD/USB/Bluetooth®プレーヤーユニットSDU-B202または入力ユニットMU-600を組み込みます。（SD/USBレコーダーユニットSDU-201は組込不可）組込方法は各ユニットの取扱説明書をご覧ください。

取手

ブランクパネル

（ユニット取付部）

別売のワイヤレスチューナーユニット、または入力ユニットEU-300、デジタルレコーダーユニットSDU-100を合計4台まで組み込むことができます。P9～11の「ワイヤレスチューナーユニットについての各説明」をご覧ください。

スピーカー1音量調節つまみ

スピーカー1出力（❶❷）に接続されたスピーカーの音量を調節します。

ご注意…

マイクへ過大入力が入ったときや、各入力・SD/USB/Bluetooth®プレーヤーユニットの音量調節つまみを上げ過ぎますと、スピーカー出力(1 2)とライン出力から歪んだ音が出力されます。そのような場合はマイクを口元から離すか、各入力・SD/USB/Bluetooth®プレーヤーユニットの音量調節つまみを各々歪まないように調節してください。スピーカー出力(1 2)音量調節つまみを絞っても歪んだ音は変わりません。

スピーカー1 2出力表示灯

スピーカー出力1 2の音量を各々表示します。赤色のLEDが点灯しないように各音量を調節してください。

バランス調節つまみ 音質調節つまみ

P6の説明をご覧ください。

フェーダー減衰量調節つまみ

P6の説明をご覧ください。

マイク1 2音量調節つまみ

本機のマイク1 2入力に接続されたマイクロホンの音量を各々調節してください。

録音出力

（−10dBV 2.2kΩ 不平衡）

録音機器などを接続してください。

1 L側端子からスピーカー1出力の放送内容が、2 R側端子からスピーカー2出力の放送内容が出力されます。

接続機器がモノラルタイプの場合もL/R両端子に接続して録音してください。

マイク1 2入力

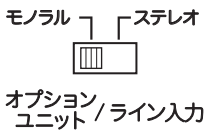
（−62dBV 600Ω 電子平衡）

マイクロホンの接続にはキャノンタイプコネクター、及び大形単頭プラグを使用できます。プラグの抜けなどのトラブルを防ぐためにキャノンタイプコネクターの使用をおすすめします。P13の「キャノンタイプコネクターの説明」をご覧ください。

ライン音量調節つまみ

ライン入力に接続された機器の音量を調節してください。

モノラル／ステレオ切換スイッチ



ライン入力とSD/USB/Bluetooth®プレーヤーユニットの出力方式（モノラル／ステレオ）を切り換えます。「ステレオ」に切り換えますとライン入力の1 L端子とSD/USB/Bluetooth®プレーヤーLchはスピーカー1出力より、ライン入力の2 R端子とSD/USB/Bluetooth®プレーヤーRchはスピーカー2出力より出力されます。P8の「モノラル／ステレオ切換スイッチとスピーカー出力の関係について」をご覧ください。

注）下記の状況では、「モノラル」側の設定でご使用ください。

●モノラル機器をライン入力の片方の端子に接続する場合。

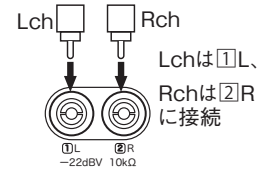
●スピーカー1 2の音が均等に聞こえない場所での使用。

ライン入力（−22dBV 10kΩ 不平衡）

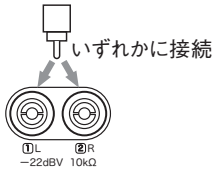
CD、カセットデッキや各種プレーヤーを接続してください。

モノラル機器を片方の端子に接続される場合は必ずモノラル／ステレオ切換スイッチを「モノラル」側に設定してください。

■ステレオ機器を接続



■モノラル機器を接続



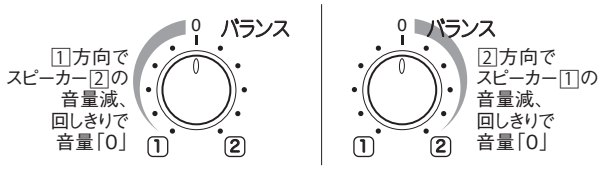
バランス調節つまみ／音質調節つまみ

●バランス調節つまみと音質調節つまみは専用、兼用を合わせ各々5個ずつ設けています。(下表参照)

マイク❶入力	マイク❷入力	ライン入力	SD/USB/Bluetooth®プレーヤーユニット※1	ユニット❶※2	ユニット❷※2	ユニット❸※2	ユニット❹※2
専用	専用	兼用		兼用		兼用	

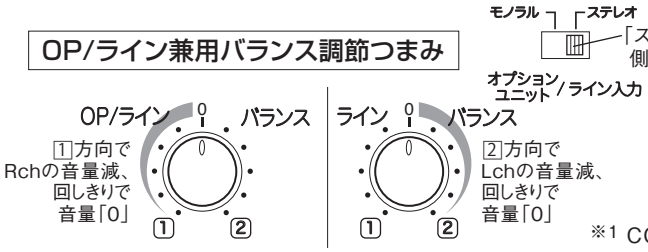
■バランス調節つまみについて

●スピーカー[1][2]両出力の音量バランスを調節します。スピーカーの設置または使用状況などに応じて調節をおこなってください。



○つまみ位置が中央ではスピーカー[1]とスピーカー[2]の音量が同等(最大)になります。
○つまみを「0」位置より[1]方向へ回しますと、スピーカー[2]の音量が減少します。スピーカー[1]の音量は変わりません。
○つまみを「0」位置より[2]方向へ回しますと、スピーカー[1]の音量が減少します。スピーカー[2]の音量は変わりません。

OP/ライン兼用バランス調節つまみ

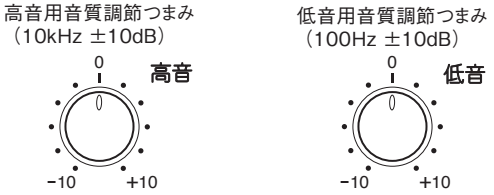


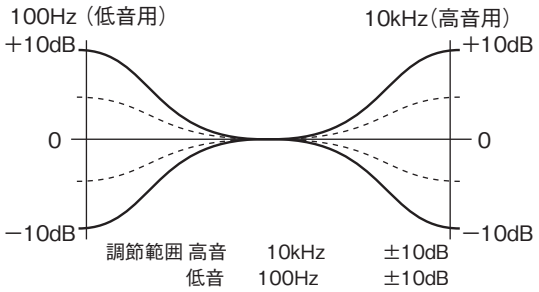
●モノラル／ステレオ切換スイッチを「ステレオ」側設定時はSD/USB/Bluetooth®プレーヤーユニット※1とライン入力にステレオで入力されたL／Rチャンネルの音量バランスを調節することができます。

※1 CGA-200B、またはCGA-200に別売SD/USB/Bluetooth®プレーヤーユニットを組込時
※2 別売ユニット組込時

■音質調節つまみについて

●音質を高音と低音で個別に調節します。100Hzと10kHzでのレベルを十10dB～ー10dBまで連続的に変化させるための調節つまみです。各音場に合わせ周波数特性を補正することにより、マイク放送時のハウリング(キーンという音が出る)を抑えたり、反響の多い場所で明瞭度を上げるのに効果があります。





○つまみ位置が中央でフラットな周波数特性です。
○つまみを「＋」方向でレベルが最大10dB増大します。
○つまみを「ー」方向でレベルが最大10dB減少します。

オートマチックフェーダー回路について

●本機はオートマチックフェーダー回路が内蔵されています。マイク放送(ユニット❶～❹も含む)時には、SD/USB/Bluetooth®プレーヤーユニット、ライン入力のミュージック放送の音量を自動的に減衰します。
●減衰量はフェーダー減衰量(ミュート)調節つまみで調節する事ができます。右へ回すと、減衰量が大きくなり、左へ回すと小さくなります。
●マイク放送が終わると減衰された音量が自動的に元の音量に戻ります。

●フェーダー減衰量調節つまみ

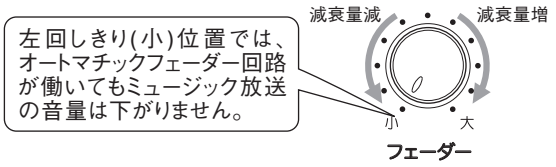
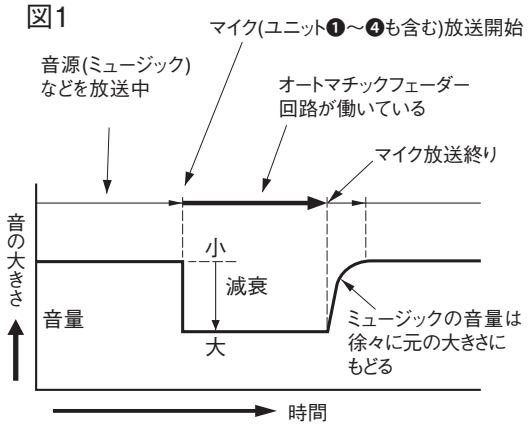


図1



各部の名称と説明(後面)

(図はSD/USB/Bluetooth®プレーヤー付 CGA-200Bです。)

アンテナ感度切換スイッチ

ワイヤレスチューナーユニット組込時、アンテナの感度を使用状況に合わせてハイ／ローを選択してください。出荷時のスイッチ設定は"ハイ"(従来性能)になっています。詳しくはP11の「アンテナ感度切換スイッチ」の説明をご覧ください。

ワイヤレスアンテナBNCコネクター(A/B)

ワイヤレスチューナーユニット組込時、ワイヤレスアンテナを接続します。接続には必ずBNCコネクターをご使用ください。P10の「アンテナについて」をご覧ください。

ご注意…

BNCコネクターからはファンタム電源が出ています。ショートさせないようご注意ください。又指定のワイヤレスアンテナ以外は接続しないでください。簡易型ワイヤレスアンテナはAA-382(別売)をご使用ください。

後面パネル

⚠注意 使用中又は使用後すぐに後面パネルにさわらないでください。後面パネルが熱くなっている場合がありますので、やけどの原因となることがあります。

ライン出力ジャック

(0dB 600Ω 不平衡)
増設アンプなどを接続してください。

電源スイッチ

このスイッチを押すと電源が入ります。

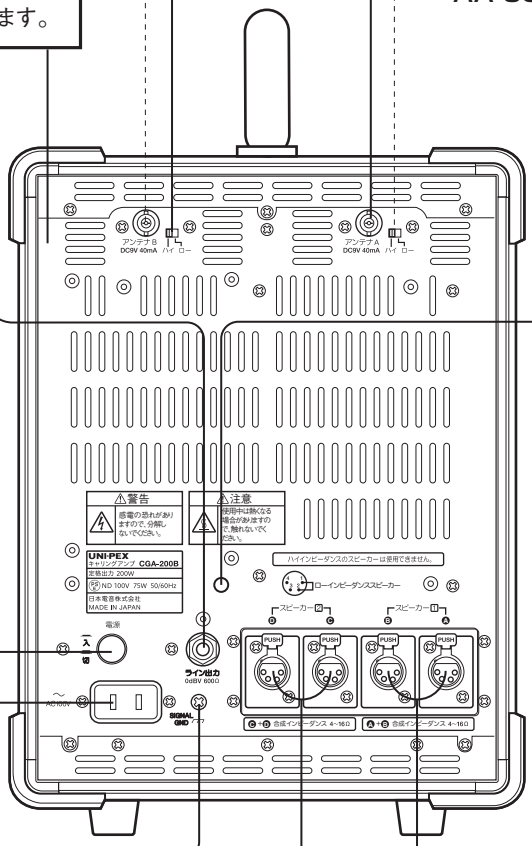
AC電源入力端子

付属のAC接続コードを使用し、ACコンセントに接続してください。

⚠警告
付属又は指定の接続コード以外はご使用にならないでください。火災・感電の原因になります。

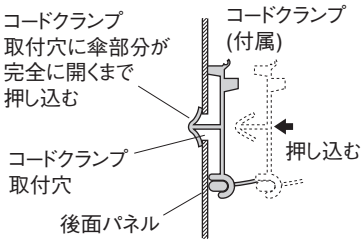
アース端子

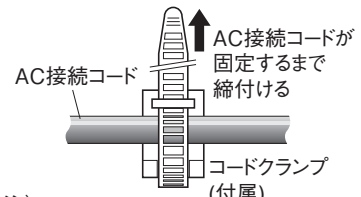
このアース端子は他の音響機器を接続した場合の雑音の低減をはかるためのものです。安全アース(接地用)ではありません。



コードクランプ取付穴

AC接続コードの抜けなどのトラブルを防ぐために付属のコードクランプを取り付け、AC接続コードを固定されることをおすすめします。このときコードの根元が折れ曲がらないようにしてください。コードクランプは一度取り付けるとはずすことができません。(下図参照)

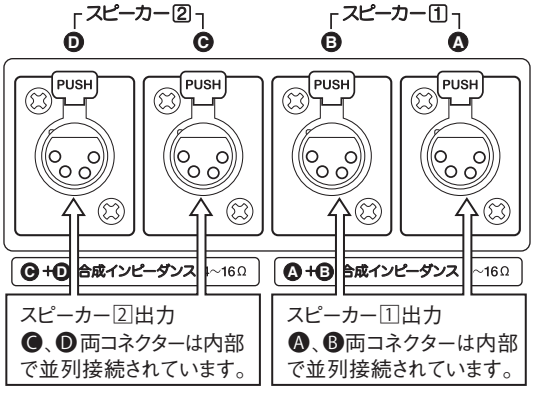




注)
コードクランプにAC接続コードと他の接続コードを一緒に固定しないでください。雑音発生の原因になります。

スピーカー1出力Ⓐ/Ⓑ・スピーカー2出力Ⓒ/Ⓓ

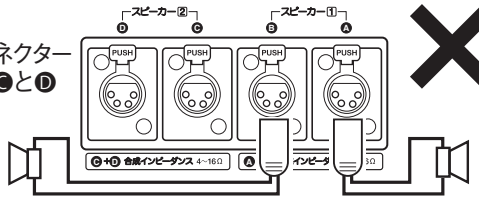
4Pキャノンタイプコネクターです。スピーカー1出力のⒶとⒷ、及びスピーカー2出力のⒸとⒹのコネクターは内部で各々並列接続されています。 P8の「スピーカーの接続方法」をご覧ください。



ご注意

本機を使用する際は必ずスピーカー1出力とスピーカー2出力の両出力にスピーカーを接続してください。スピーカーを接続せずに無負荷で使用しますと発振し、保護回路がはたらく恐れがあります。

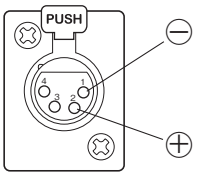
接続していないコネクターがⒶとⒷ、またはⒸとⒹの場合



スピーカーの接続方法

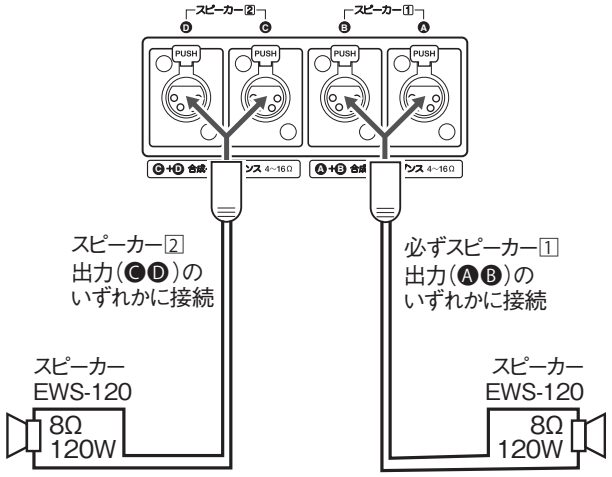
●スピーカー1出力のⒶとⒷ及びスピーカー2出力のⒸとⒹのコネクターは内部で各々並列接続されています。
●本機を使用する際は必ずスピーカー1出力とスピーカー2出力の両方にスピーカーを接続してください。
●スピーカーの接続にはEWS-120に付属のスピーカーコードを使用してください。 スピーカーコードは延長しないで、必ず1本のみで接続してください。また、できるだけまっすぐ伸ばして使用してください。
●本機にEWS-120（別売）以外のスピーカーを接続する場合は下表を参考にしてください。
●P13の「キャノンタイプコネクター」の説明をご覧ください。

スピーカー出力系統	接続コネクター	適合負荷合成インピーダンス	スピーカーの必要容量
スピーカー1	Ⓐ Ⓑ	4Ω～16Ω（Ⓐ+Ⓑ）	100W以上（Ⓐ+Ⓑ）
スピーカー2	Ⓒ Ⓓ	4Ω～16Ω（Ⓒ+Ⓓ）	100W以上（Ⓒ+Ⓓ）

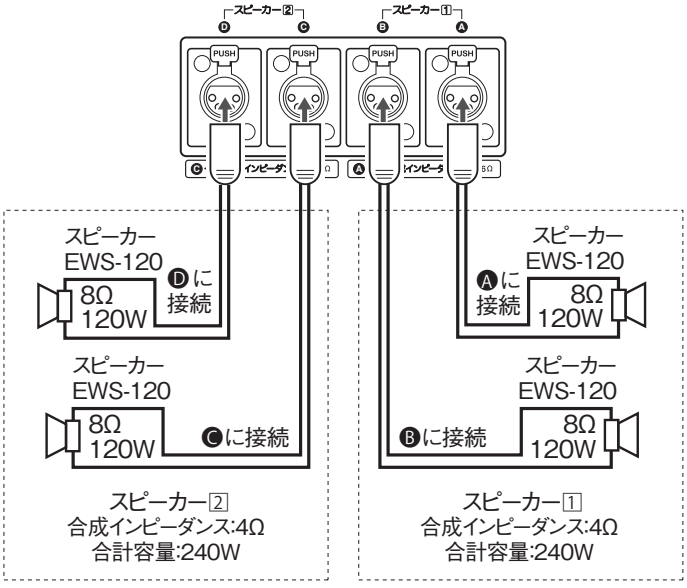


特にご注意を..
●ハイインピーダンススピーカーを使用することはできません。
●複数のスピーカーを接続するときは、全スピーカーの合成インピーダンスがスピーカー出力1系統あたり4Ω以下にならないようにしてください。
●接続するスピーカーは必ず極性を合わせてください。
●使用するスピーカーの定格入力は、スピーカー1個に加わる入力W数より大きいものを使用してください。

接続例 1 （スピーカー2台の場合）



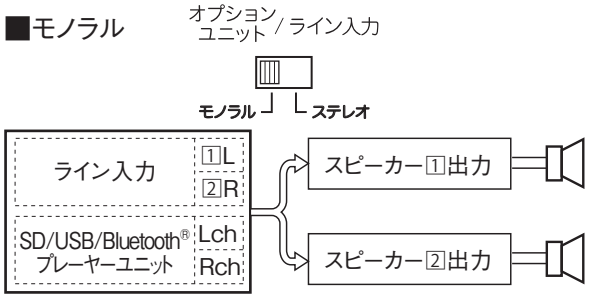
接続例 2 （スピーカー4台の場合）



モノラル／ステレオ切換スイッチとスピーカー出力の関係について

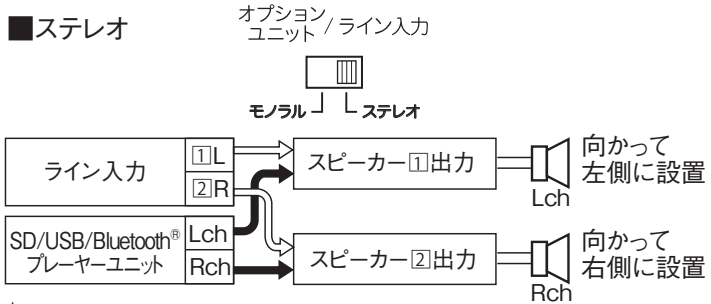
●本機前面のモノラル／ステレオ切換スイッチの設定によりSD/USB/Bluetooth®プレーヤーユニットとライン入力にステレオで入力された機器のL/R出力は下記のようにスピーカー出力12より出力されます。

■モノラル



☆メモ
・ L/Rのチャンネルをミキシングし両スピーカー出力より出力されます。スピーカーを必要な場所に設置してください。

■ステレオ



☆メモ
・ スピーカー1出力に接続のスピーカーは向かって左側に設置してください。
・ スピーカー2出力に接続のスピーカーは向かって右側に設置してください。

別売ユニットの取付方法

（取付ユニットの取扱説明書も合わせてご覧ください。）

●本機は別売のワイヤレスチューナーユニット、または入力ユニットEU-300、デジタルレコーダーユニットSDU-100を合計4台まで組み込むことができます。(下表参照)　取付は販売店または、最寄りのユニペックス営業所にご相談ください。

◇適合ワイヤレスチューナーユニット

形　　式	受信周波数帯	品　　番
ダイバシティ	800MHz帯	DU-8200
ダイバシティ	300MHz帯	DU-3200A
シングル	300MHz帯	SU-3000A

※DU-8030は組込不可

1.ブランクパネルをはずす

本機の電源プラグをコンセントから抜き、ブランクパネルをはずしてください。ブランクパネルの裏側には4Pコネクターと同軸コネクター(A)が差し込まれていますので、それらをブランクパネルから取りはずしてください。(図1参照)

⚠警告　ご使用中は、感電の恐れがありますので、ブランクパネルをはずさないでください。ブランクパネルをはずすときは、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。

2.各コネクターをワイヤレスチューナーユニットに接続する

◎各コネクターを接続する前に、必ず4Pコネクター部の番号表示とユニット挿入口右側の番号が合っているか確認してください。

◇ダイバシティワイヤレスチューナーユニットを組み込む場合は、図2のように本機側とユニット側の同軸コネクター及び4Pコネクターを接続してください。同軸コネクターは必ず、同じ表示(A･B)のものと接続してください。また同軸コネクター(B)の保護チューブは接続前にはずしてください。(図3参照)

※入力ユニットEU-300、デジタルレコーダーユニットSDU-100を取り付ける場合

EU-300、SDU-100を取り付ける場合も同様の取付手順で接続してください。

◇シングルワイヤレスチューナーユニットを組み込む場合は同軸コネクター(A)と4Pコネクターを接続してください。(図4参照)

※ワイヤレスアンテナは必ずBNCコネクター(A)側に接続してください。

3.ワイヤレスチューナーユニットを組み込む

ワイヤレスチューナーユニットを本機のワイヤレスチューナーユニット挿入口に挿入し、ブランクパネルを取り付けてあった2本のねじで固定してください。(図5参照)

図5

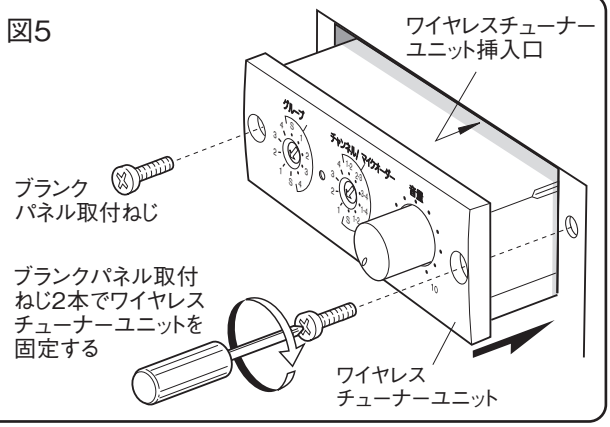
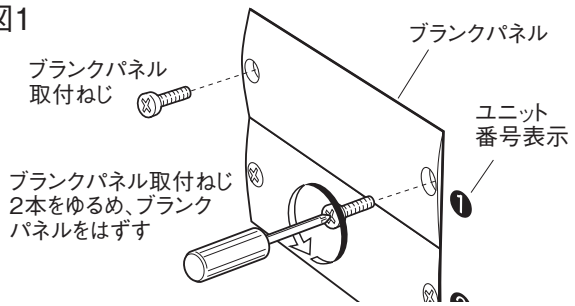


図1



ユニットを2～3台組み込まれる場合は

ユニット❶/❷、ユニット❸/❹の2組にそれぞれ兼用で対応するバランス調節と音質調節用のつまみが設けられています。各調節つまみを利用する事を考慮し、ユニット挿入口をお選びください。

図2

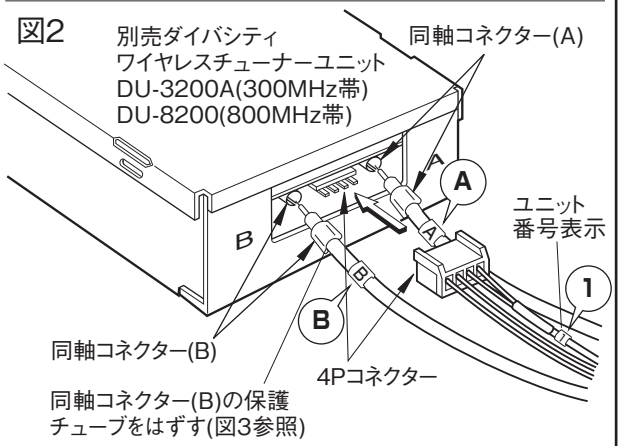


図3　同軸コネクター(B)の保護チューブをはずす

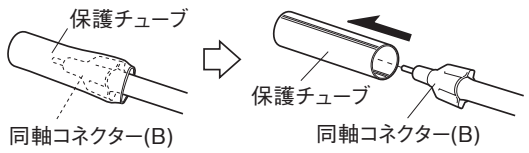
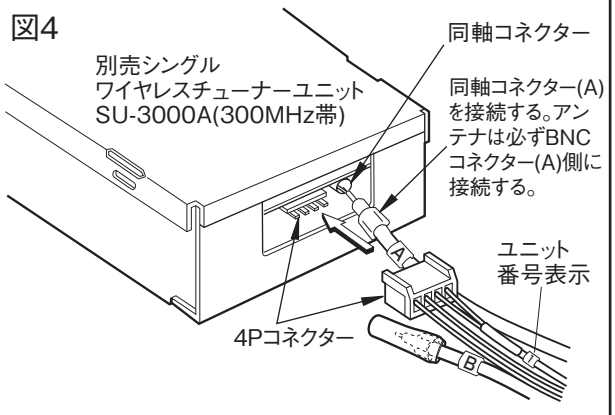


図4

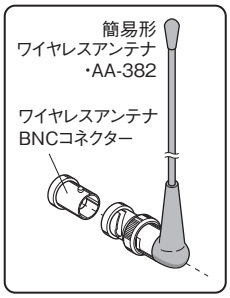


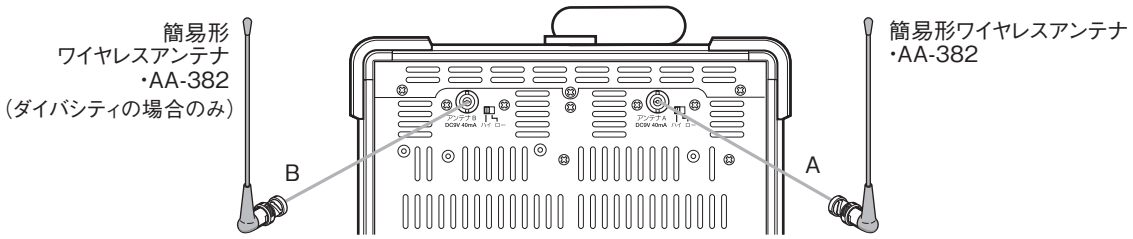
ご注意..　●ブランクパネルから4Pコネクターをはずす際は、ブランクパネルのロックのつめをはずしてから取りはずしてください。またワイヤレスチューナーユニット挿入時は、接続コードをはさみ込まないように注意してください。

アンテナについて

■簡易形ワイヤレスアンテナ(AA-382)の接続のしかた

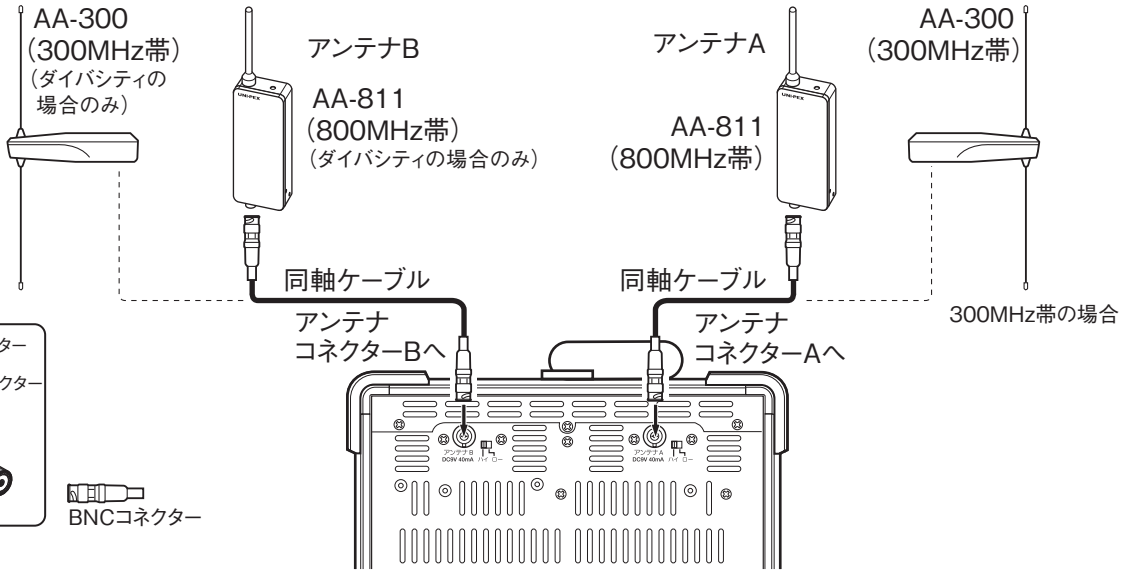
●ワイヤレスマイクの移動する範囲内でアンテナのロッドが見えるように、本機背面のアンテナ端子A、アンテナ端子Bに垂直に取り付けてください。(800MHz帯／300MHz帯混用可)

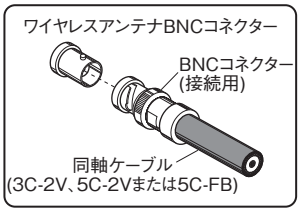




■設置形ワイヤレスアンテナ(AA-811/AA-300)の接続のしかた(設置例)

●本機が接続できるアンテナは最大2本です。(800MHz帯／300MHz帯混用不可)





アンテナ設置上のご注意

●下記表を参考にしてワイヤレスチューナーユニットに合ったワイヤレスアンテナを接続してください。

ワイヤレスチューナーユニット	受信周波数帯(形式)	適合アンテナ品番		アンテナ接続コネクター
DU-8200	800MHz帯(ダイバシティ)	AA-382	AA-811	A / B
DU-3200A	300MHz帯(ダイバシティ)		AA-300	A / B
SU-3000A	300MHz帯(シングル)			A

●ワイヤレスアンテナを設置する前に、あらかじめアンテナを仮設し、ワイヤレスマイクの移動範囲内で受信テストをおこないデッドポイントが最も少ない所を選んでください。

●雑音や妨害電波を避けるため、下記のような機器(場所)の近くには設置しないでください。
高周波乾燥機、高周波医療設備、電気熔接機、ブラッシングモーター、デジタル機器(コンピューター・電子楽器)、自動車(道路)、静電式空気清浄器など。

同軸ケーブルについてのご注意

●アンテナを接続する前に、同軸ケーブルの配線がショートしていないことを確かめてください。ショート状態で電源スイッチを入れると機器を傷めることがあります。

●同軸ケーブルとBNCコネクターの接続、またはアンテナに直接ねじ止めする場合は接続が完全におこなわれていないと、高周波損失を招き電波伝送に大変悪い結果をもたらします。充分ご注意ください。

●アンテナと本機との距離が長くなると、減衰が大きくなり受信状態が悪くなります。下記表を参考にして、使用する同軸ケーブルをお選びください。

使用可能同軸ケーブル	3C-2V(※300MHz帯に限る)	5C-2V	5C-FB
延長可能距離(800MHz帯/300MHz帯)	——— /約25m	約20m/約40m	約40m/約80m
使用コネクター	BNCコネクター 別売AW-01／AW-02(AW-12)		

アンテナとワイヤレスマイクの関係について

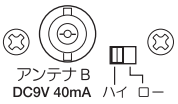
●同じ周波数の妨害電波、高周波を使う機器が近くにないことを確認してください。やむをえず雑音源の近くでご使用になる場合は、ワイヤレスマイクとワイヤレスアンテナの距離は約2m～10mの距離でご使用ください。なお、2m以内に近づくと、使用していないチャンネルへの飛び込みや混信などが発生することがあります。その場合は本機のアンテナ感度切換スイッチ、またはワイヤレスアンテナ内部のスイッチをローに切り換えてください。詳しくは下記の「アンテナ感度切換スイッチ」の説明をご覧ください。

●ワイヤレスマイクを2本以上使用する場合は、マイクロホンどうしは50cm以上離してください。他の受信機へ混信することがあります。

注) 使用中のワイヤレスマイクと同一周波数の他のワイヤレスマイクを「ON」にすると「ピー」という音がすることがあります。チャンネル(周波数)を変更してご使用ください。

アンテナ感度切換スイッチ

アンテナの感度を使用状況に合わせてハイ／ローを選択してください。出荷時のスイッチ設定は"ハイ"(従来性能)になっていますが、1)～4)の場合は"ロー"に切り換えて感度を落としますと、混信を防ぐことができます。



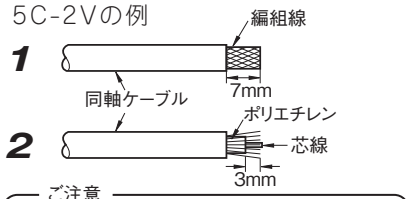
1) 他のグループのマイクを近接場所(30m以上離れた場所)で同時に使用する場合。
2) 同一グループのマイクを近接場所(100m以上離れた場所)で同時に使用する場合。
3) 受信アンテナの設置場所によって、マイクが2m以内の距離に接近する場合。
4) その他、電波障害による混信がある場合。

ご注意…アンテナ感度切換スイッチを"ロー"に切り換えた場合、ワイヤレスマイクの通達距離は1/2～1/3に減少します。

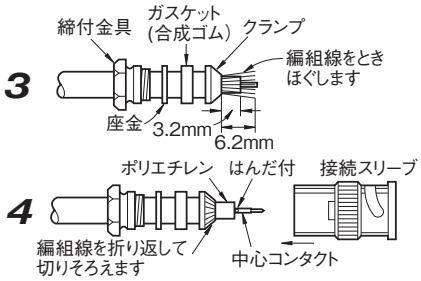
BNCコネクターと同軸ケーブルの接続のしかた(例)

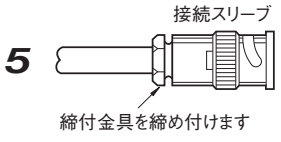
●同軸ケーブルの処理具合により受信性能が大幅に変わります。この説明に忠実にしたがってください。また同軸コネクターは性能の良いBNCコネクターを使用してください。

注) 接続後、芯線と編組線がショートしていないことをテスターなどで確認してください。



ご注意
中心コンタクトは、ポリエチレンとすきまのないようにして、ポリエチレンが溶けないように素早く芯線にはんだ付けをおこなってください。





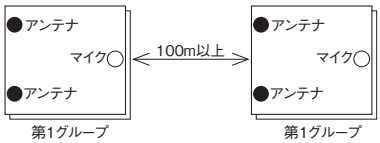
⚠注意 BNCコネクターや同軸ケーブルの配線をショートさせない。機器損傷の原因となることがあります。

ワイヤレスマイクシステムの設計・設置について

同一グループを近接場所で同時に使用する場合

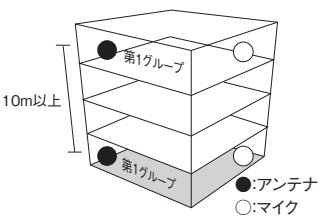
同一平面の場合

●お互いの使用場所を100m以上離してください。



階層が異なる場合

●鉄骨/鉄筋構造の場合、お互いの使用場所を垂直距離で10m以上離してください。
(木造の場合は不可)

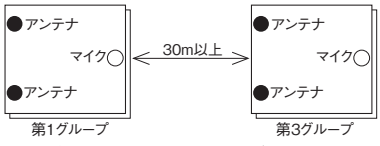


他のグループを近接場所で同時に使用する場合

例えば800MHz帯の第1グループ(B11～B16)と第3グループ(B31～B36)を近くで同時に使用する場合は、以下のような注意が必要です。

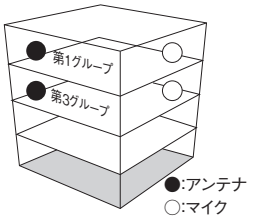
同一平面の場合

●お互いの使用場所を30m以上離してください。



階層が異なる場合

●鉄骨/鉄筋構造の場合、階層が異なれば、同一平面の場合のような制限はなく使用できます。
(木造の場合は不可)

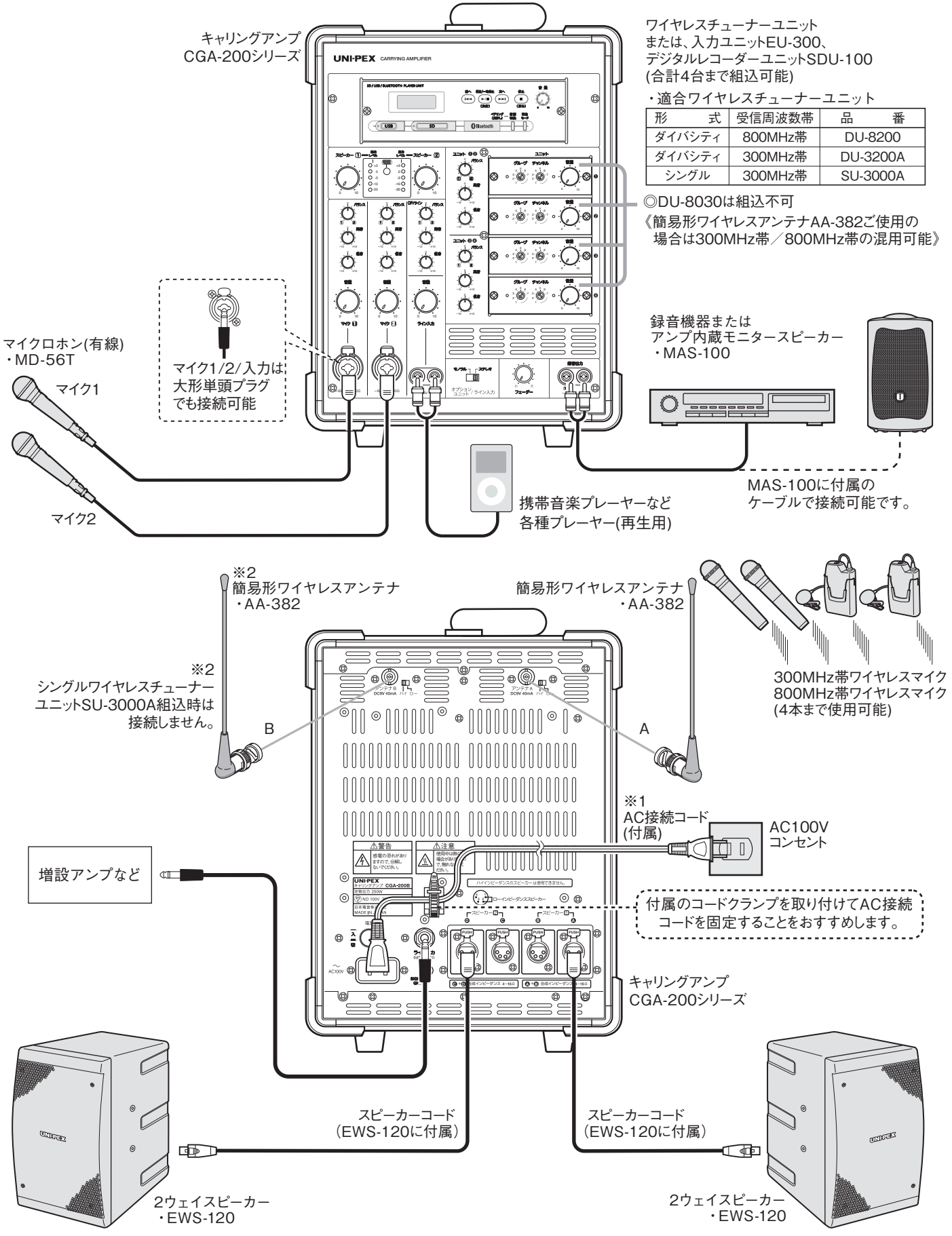


注:同一閉空間(仕切りは壁、戸、ガラス等)では、1つのグループ(800MHz帯では6chまで、300MHz帯では4chまで)しか同時使用できません。

●上記はユニペックスワイヤレスマイクシステムの基本的な説明です。

接続例

（下記以外の接続については、販売店などへご相談ください。）



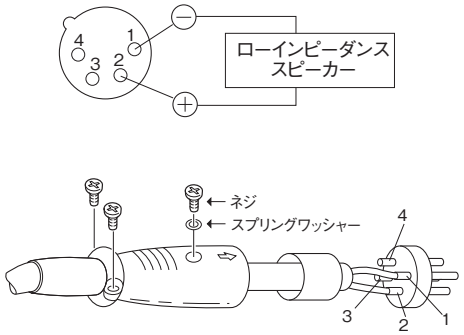
キャノンタイプコネクターの説明

●本機のマイク入力端子とスピーカー出力端子はキャノンタイプコネクター(XLR-3-31/XLR-4-31相当)です。

⚠注意　配線を間違えない、ショートさせない。機器の損傷や火災・感電の原因となることがあります。

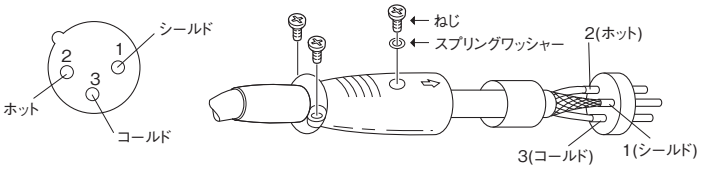
結線図

●スピーカー出力用(XLR-4-12C相当)

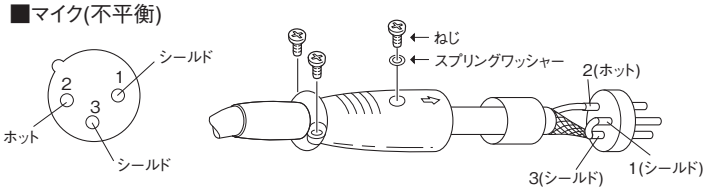


●マイク入力用(XLR-3-12C相当)

■マイク(平衡)

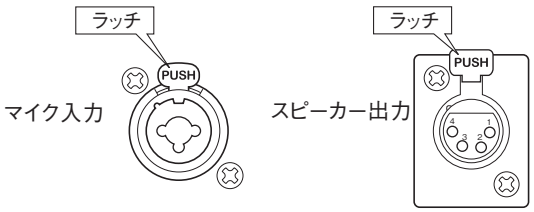


■マイク(不平衡)

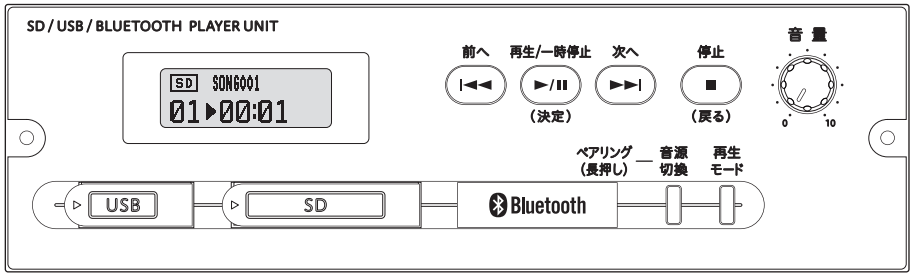


接続のはずし方

●キャノンタイプコネクターの接続をはずされるときは、本機側のコネクターのラッチを押しながら抜いてください。



SD/USB/Bluetooth®プレーヤー部の説明



14～29頁は、組み込まれているSD/USB/Bluetooth® プレーヤーユニット SDU-B202についての説明です。
このユニットはSDカード/USBメモリーに収録されたMP3形式の音源ファイル及びBluetoothで接続した機器の音源ファイルを再生することができます。
SD/SDHCカードおよびUSBメモリーは別売です。用途に適した容量のものを、別途ご用意ください。

音源ファイル再生上のご注意

音源ファイルについてはデータ書込みの状態、及び使用メディアの性能・品質などにより、正常に再生できない場合がありますので、ご使用に際しては充分ご注意ください。

Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth　SIG,Inc.が所有する登録商標で、日本電音株式会社はこれらの商標を使用する許可を受けています。

目　次

接続するBluetooth®機器について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
使用するメディアを準備する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
　□メディアの準備について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
　□誤消去防止スイッチについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
　□ご使用可能なメディアについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
　□音源ファイルの準備について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16、17
　□メディア内のファイルのバックアップについて・・・・・・・・・・・・17
各部の名称と説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18、19
音量を調節する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
SD/USB音源を再生する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20～22
メディアを取り外す・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
リピート・ランダム再生をする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
Bluetooth®音源を再生する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25、26
自動再接続機能を使用する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27、28
音声が途切れた時は・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
エラーメッセージの説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29

接続するBluetooth®機器について

●接続できる機器には、Bluetooth機能搭載のスマートフォン、音楽再生プレーヤー等の携帯機器、タブレットを含めたPCがあります。
※ヘッドセットマイク、ハンズフリーマイク等はご使用になれません。

※SDU-B202は、HSP（ヘッドセットプロファイル）、HFP（ハンズフリープロファイル）に対応していないため、ヘッドセットマイクや、ハンズフリーマイクとの接続ができません。
※Bluetooth機器に携帯電話やタブレットをお使いの場合は、通話機能をOFF(電波OFFモード等)にしてください（着信してしまいますと、音声出力が消音されます）。
※SDU-B202と接続するには、お使いのBluetooth機器が対応プロファイル（A2DP）に対応している必要があります。お使いのBluetooth機器が対応しているBluetoothプロファイルについては機器の取扱説明書などをご確認ください。
※お使いのBluetooth機器を組込機器の近傍に置くとスピーカーからノイズが発生する場合があります。その場合は、お使いのBluetooth機器を組込機器から少しだけ離してお使いください（本機による影響ではありませんが、Bluetooth機器には組込機器に影響を及ぼす周波数の電波を出しているものがあります）。

使用するメディアを準備する

メディアの準備について

●SDU-B202のご使用にあたってはSDカード/USBメモリーを別途ご用意してください。
用意するにあたっては下記の点にご注意ください。

□SDカードの準備について

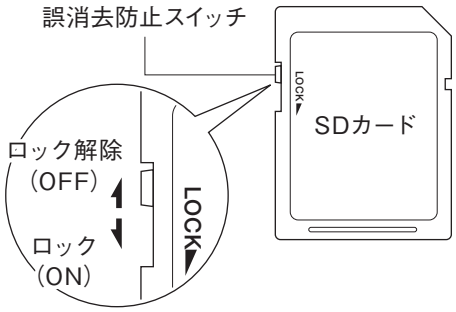
・SDカードは、SD規格で使われているロゴタイプ（右記参照）が明示されたものを使用してください。
・容量32GBまでのSD/SDHCカードに対応しています。
・miniSD/SDHCカードやmicroSD/SDHCカードは使用しないでください。
アダプターの仕様により動作しないものがあります。
・SDXC（SD Extended Capacity）規格のSDカードには対応しておりません。

SDロゴ、SDHCロゴは商標です。

□USBメモリーの準備について

・USBマスストレージクラス準拠USBメモリーを使用してください。
容量32GBまでのUSBメモリーに対応しています。

誤消去防止スイッチについて



□SDカードの横に付いている誤消去防止スイッチをロック側にしますと、録音、消去などカードの内容を変更することができません。再生時に誤操作によるデータの消失を未然に防ぐため、このスイッチをロック側にされることをお勧めします。

ご使用可能なメディアについて

●一部のSDカード、USBメモリーは、本機器ではご使用頂けない場合があります。
その際は別のメディアを使用したり、新しいものに取り換えてお試しください。

使用するメディアを準備する

音源ファイルの準備について

SDカード/USBメモリーに収録する音源ファイルについては下記の点にご注意ください。

□メディアのフォーマット（初期化）について

・SDカード/USBメモリーは、パソコン等を使用しフォーマットを行ってから、音源ファイルの転送を行ってください。
・SDカードをパソコン等でフォーマットをする場合、SDカードフォーマッター※を使用し、FAT形式でフォーマットしてください。

SDカードフォーマッター　検索

※SDカードフォーマッターは
検索エンジンで検索してください。

・USBメモリーをパソコン等でフォーマットをする場合、パソコン等の画面に表示されるUSBメモリーのアイコンを右クリックしてフォーマットを選び、FAT形式でフォーマットしてください。
・市販のものをそのまま用いた場合、データが破損したり、正常に再生が行われない恐れがあります。

□音源ファイルのファイル形式について

MP3		
規格		MPEG-1 Audio Layer-3
拡張子		.mp3
サンプリング周波数		32kHz、44.1kHz、48kHz
ビットレート※1		32k、40k、48k、56k、64k、80k、96k、112k、 128k、160k、192k、224k、256k、320kbps
チャンネル		モノラル、ステレオ、ジョイントステレオ
ファイルサイズ		2GB以内
ファイル名・フォルダー名の最大文字数		ファイル名　：半角英数字 32文字（全角16文字） フォルダー名：半角英数字 16文字（全角8文字）
ファイル・フォルダーの最大数※2		ファイル数　：999 フォルダー数：999
フォルダー階層の最大数		3階層
タグ	規格	ID3 タグ Ver.2.2、2.3、2.4※3
	表示する情報	タイトル
	表示最大文字数	半角英数字 32文字　（全角16文字）

※1 上記対応ビットレートの範囲でVBR対応。ただし、可変ビットレート再生時には時間がずれることがあります。
※2 認識可能なファイル数を超過すると正常に動作できない場合があります。
※3 ID3タグとは、MP3ファイルに音源タイトルやアーティスト名などを書き込んだ情報のことです。市販のソフトウェアなどを使用して情報を書き込むことで、タグに対応した機器等で情報を表示させることができます。本機でも、タグ情報のうち、タイトルを表示させることができます。ID3タグ Ver2.4に関しては、文字コードUTF-8は非対応です。

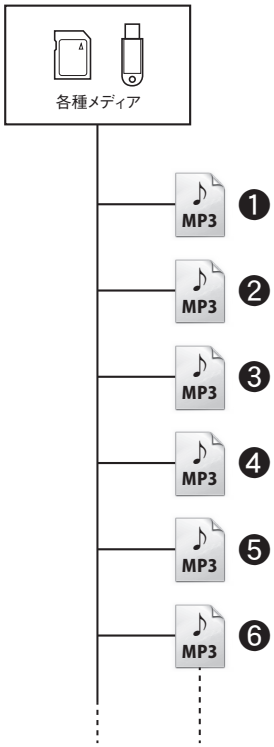
※上記の条件に合致したものでも、SDカード/USBメモリーの特性、記録状態などにより、本機では使用できないことがあります。

□音源ファイルの再生順について

●メディア内にフォルダーがない場合

ファイル名順ではなく、メディアに転送された順番に再生されます。
再生する順番で、1曲ずつ転送してください。

例）　※上から転送順です。❶=再生順

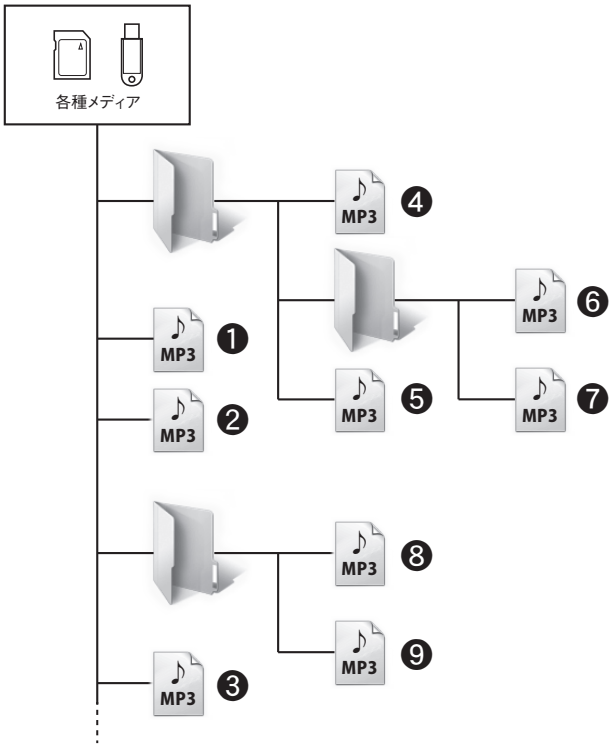


●メディア内にフォルダーがある場合

Ⓐメディア直下に転送された音源ファイル
↓
Ⓑメディア直下に作成されたフォルダーに転送された音源ファイル
↓
Ⓒ“Ⓑ”のフォルダー内に作成されたフォルダーにコピーされた音源ファイル

※フォルダー内での再生順は音源ファイル名ではなく、転送された順になります。

例）　※上から転送順です。❶=再生順



※フォルダーは最大3階層まで対応しています。
※音源ファイルのファイル名やファイル形式（MP3）は再生順に関係ありません。
※メディアにファイルを転送した後にそのファイルのプロパティ及びファイル名を編集すると、再生順序が変更になる場合がありますので、転送前に編集してください。

メディア内のファイルのバックアップについて

・メディアに収録した内容は、機器の故障や誤った操作などにより失われることがあります。失っても困らないように、大切な音源ファイルはパソコンにバックアップし、また収録内容をメモして保存しておいてください。

各部の名称と説明

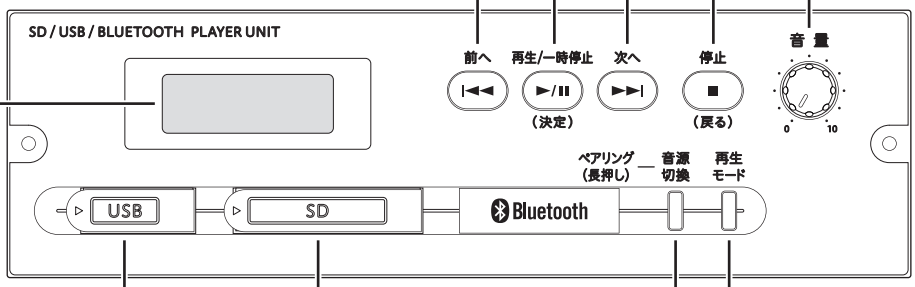
再生/一時停止ボタン
メディアの再生を始めるときに押します。
再生を一時停止（ポーズ）する、一時停止（ポーズ）から再生を再開するときはこのボタンを押します。
また、状態を決定（登録）するときもこのボタンを押します。
33頁の説明をご覧ください。

スキップ/サーチボタン（前へ）
曲(トラック)の戻り選択をするときに押します。
再生中、このボタンを2秒以上押し続けると曲を早戻しします。34頁の説明をご覧ください。

スキップ/サーチボタン（次へ）
曲(トラック)の送り選択をするときに押します。
再生中、このボタンを2秒以上押し続けると、曲を早送りします。34頁の説明をご覧ください。

停止ボタン
再生を停止するときに押します。
また、各操作を途中で戻る（キャンセルする）ときも、このボタンを押してください。
33頁の説明をご覧ください。

音量調節つまみ
再生音量を調節するときに使用します。32頁の説明をご覧ください。



ディスプレイ
操作または動作状態を表示します。
31頁の説明をご覧ください。

USBメモリー挿入口
ダストカバーを外しUSBメモリーを挿入してください。
32頁の説明をご覧ください。

SDカード挿入口
ダストカバーを外しSDカードを挿入してください。
32頁の説明をご覧ください。

再生モードボタン
リピート・ランダム再生の選択をするときに押します。
36頁の説明をご覧ください。

【長押し】Bluetooth自動再接続設定
長押しでBluetooth自動再接続の設定を行います。
39頁の説明をご覧ください。

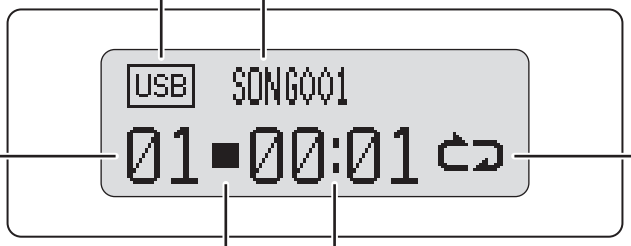
音源切換ボタン
再生する音源を切り換えるときに押します。
33頁の説明をご覧ください。

【長押し】ペアリング
Bluetooth音源を選択時、長押しでペアリングします。
すでにBluetoothで自動接続している機器がある場合は、接続が解除されます。37~38頁の説明をご覧ください。

(ディスプレイ部の名称と説明)

ディスプレイのバックライトは、停止状態、メディア未挿入状態が3分継続すると消灯します。

●選択している音源や再生状態によって表示内容が異なります。
下記は代表的な表示の説明です。詳しくは32頁からの操作方法をご覧ください。



音源表示
選択中の音源を表示します。

- USB — USB
- SD — SD
- BLT — Bluetooth 未接続
- BLT — Bluetooth 接続済

ファイル名表示
再生中の音源ファイルのファイル名とタグ情報をスクロール表示します。

トラック番号表示
再生中の曲（トラック）を表示します。
※SD/USB使用時の機能です。

状態表示
SDU-B202の状態を表示します。

- ■ 停止
- ▶ 再生
- ❙❙ 一時停止
- ▶▶ 早送り
- ◀◀ 早戻し

再生時間表示（分：秒）
再生中の曲の経過時間の目安を表示します。

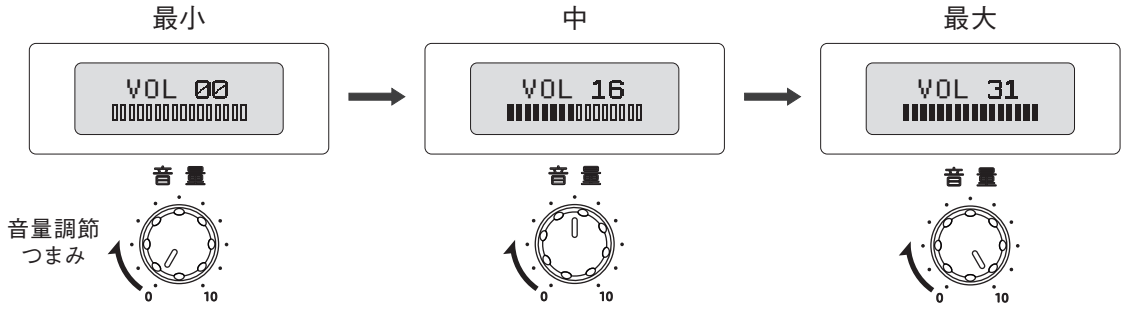
再生モード表示
様々な再生モードを表示します。
※SD/USB使用時の機能です。

- 空欄 — 全曲再生（29頁の再生順）
- 全曲リピート
- 1曲リピート
- リレー再生
- ランダム再生

ご注意
●SDU-B202はVBR(可変ビットレート)のMP3ファイルの再生、早送り、早戻し時に固定ビットレートとして時間表示をするため、実際の時間表示とは大幅なずれが生じることがありますが、異常ではありません。

音量を調節する

●音量を上げるときは音量調節つまみを右方向に、音量を下げるときは左方向に回します。
●音量は0～31の数値と16段階のバーメーターで表示します。



SD/USB音源を再生する SD/USB の操作説明

●次の手順で再生してください。

1.音量を0にする

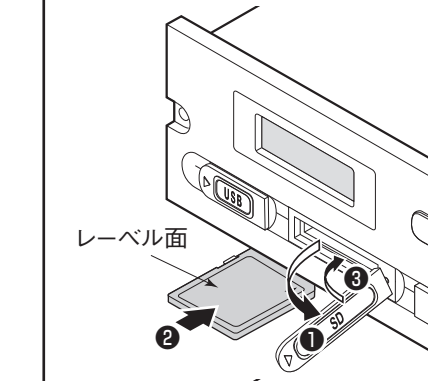
□本機及びSDU-B202の音量を全て0にしてください。

⚠注意 各音量を最小にせずに電源を入れると、突然大きな音が出力され、聴力障害などの原因になることがあります。

2.電源を入れる

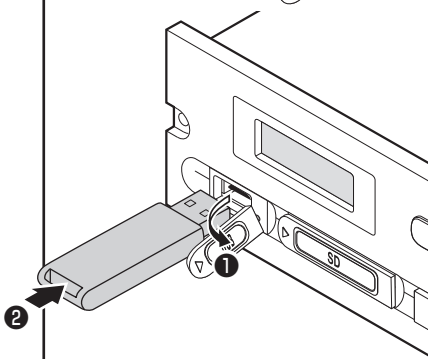
□本機の電源スイッチを押して電源を入れ、本機の電源表示灯が点灯していることを確認してください。
※SDU-B202は、前回電源をOFFにした時のメディアの設定を記憶しています。
※メディアが見つからない場合、**【メディアなし】**と表示し、メディアの挿入待ちとなります。

3.メディアを挿入する



■SDカードの場合

❶SDカード挿入口のダストカバーを外します。
❷SDカードの向きに気をつけて、SDカード挿入口へ挿入してください。
❸ダストカバーを取り付けてください。



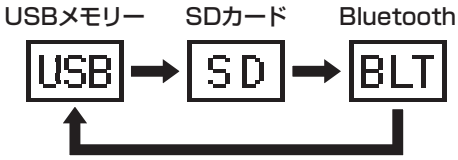
■USBメモリーの場合

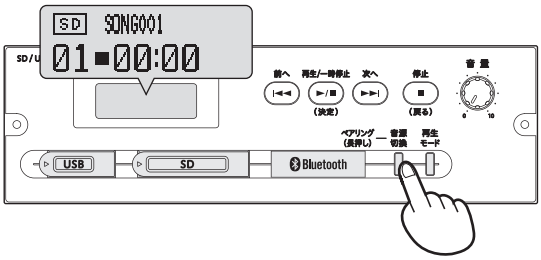
❶USBメモリー挿入口のダストカバーを外します。
❷USB端子の向きに気をつけて、USB挿入口へ挿入してください。

ご注意
●USBメモリーを対象とします。携帯音楽プレーヤーなど他のUSB機器は動作しません。充電も含めて、SDU-B202からの給電は行わないでください。機器の故障を招く場合があります。

4.再生するメディアを選択する

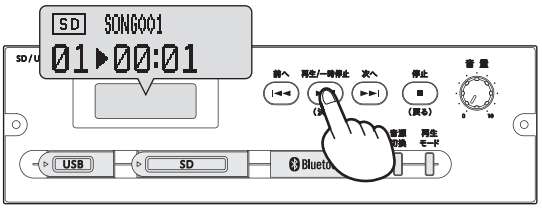
□音源切換ボタンを押して、メディアを選択してください。
押す度にメディアが切り換わります。





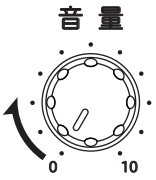
5.再生/一時停止ボタンを押す

□停止中に再生/一時停止ボタンを押すと、再生を開始します。



6.音量を調節する

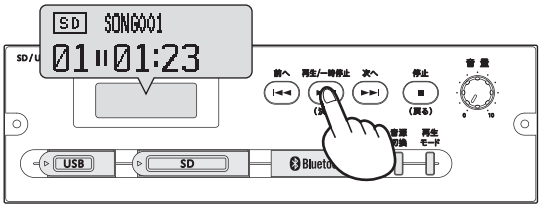
□音量調節つまみをゆっくりと回し、適切な音量に調節してください。



再生を一時停止（ポーズ）するには

再生/一時停止ボタンを押す

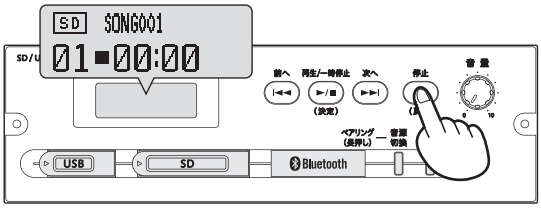
□再生/一時停止ボタンを押した位置で、再生を一時停止します。
一時停止中に再生/一時停止ボタンを押すと、その位置から再生を再開します。



再生を停止するには

停止ボタンを押す

□再生/一時停止中に停止ボタンを押すと、停止状態になります。
□停止中に再度停止ボタンを押すと、先頭の曲番に戻ります。

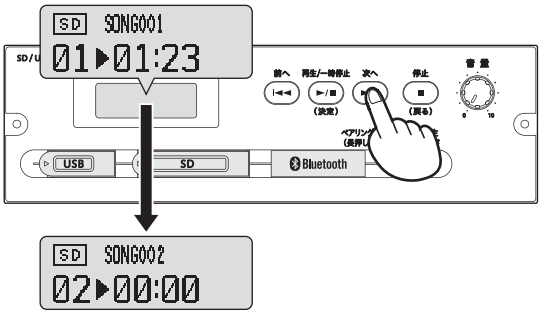


SD/USB音源を再生する SD/USB の操作説明

曲を選ぶには

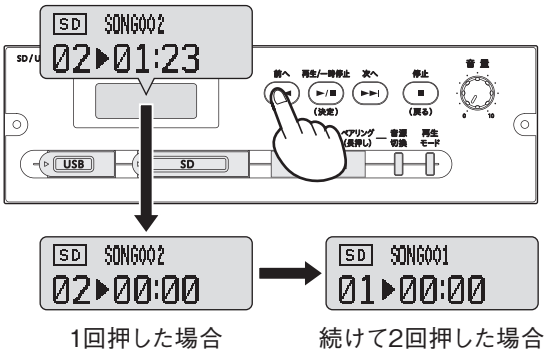
●次の曲を聴きたいときには
スキップ/サーチボタン[次へ]を押す

□再生中・一時停止中にスキップ/サーチボタン〔次へ〕を押すと次の曲の頭に移動し再生を開始します。
□停止中に押すと、次の曲番号に表示が換わります。



●前の曲を聴きたいときには
スキップ/サーチボタン[前へ]を押す

□再生中・一時停止中にスキップ/サーチボタン〔前へ〕を押すと再生中の曲の頭に戻り再生を開始します。
□再生中・一時停止中に続けて2回押すと、前の曲の頭へ移動し、再生を開始します。
□停止中に押すと、前の曲番号に表示が換わります。



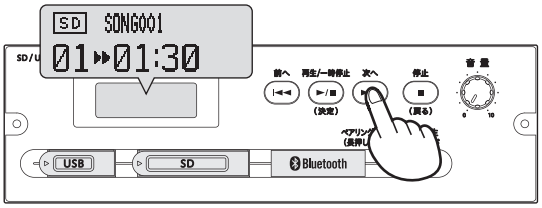
1回押した場合　　続けて2回押した場合

早送り／早戻しするには

※早送り/早戻しの際に音声は出力されません。

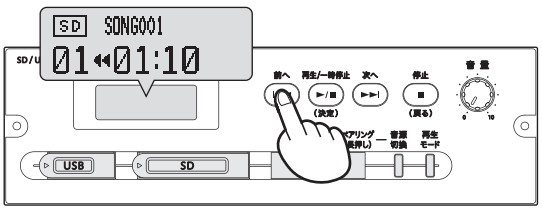
●曲を早送りするには
スキップ/サーチボタン[次へ]を押し続ける

□再生中・一時停止中にスキップ/サーチボタン〔次へ〕を2秒以上押し続けると早送りします。
□スキップ/サーチボタン[次へ]を離すと、その位置から再生を開始します。



●曲を早戻しするには
スキップ/サーチボタン[前へ]を押し続ける

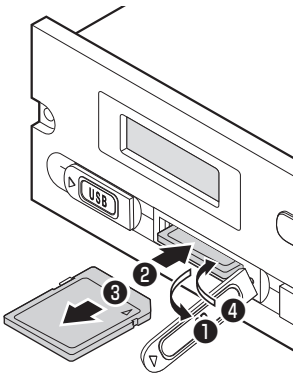
□再生中・一時停止中にスキップ/サーチボタン〔前へ〕を2秒以上押し続けると早戻しします。
□スキップ/サーチボタン[前へ]を離すと、その位置から再生を開始します。



メディアを取り外す SD/USB の操作説明

●次の手順で取り外してください。

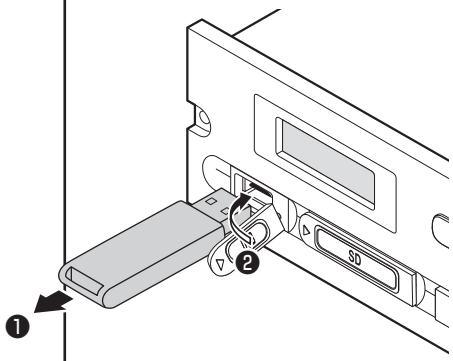
再生を停止させてから取り外す



■SDカードの場合

❶ダストカバーを外してください。
❷SDカードを押し込み、ロックを外してください。
❸SDカードをまっすぐ引き抜いてください。
❹ダストカバーを取り付けてください。

ご注意
●再生中にSDカードを取り外すとデータが破損する場合があります。



■USBメモリーの場合

❶USBメモリーを引き抜いてください。
❷ダストカバーを取り付けてください。

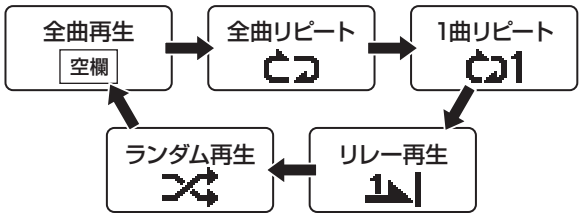
ご注意
●再生中にUSBメモリーを引き抜くとデータが破損する場合があります。

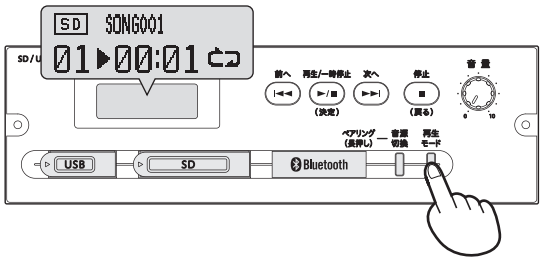
リピート・ランダム再生をする SD/USB の操作説明

●次の手順で再生してください。

再生モードボタンを押す

□再生モードボタンを押す度に、下図のようにリピート・ランダム再生が切り換わります。

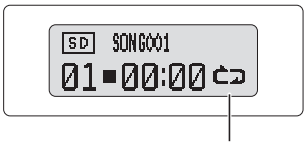




リピート･ランダム		説　明
全曲再生	空欄	メディア内の曲を全て再生した後、停止します。
全曲リピート		メディア内の曲を全て再生し、一巡すれば先頭の曲へ戻り再生を継続します。
1曲リピート		再生中の曲を繰り返し再生します。
リレー再生		1曲再生ごとに停止し、次の曲で待機します。
ランダム再生		メディア内の全ての曲をランダム再生します。※停止するまで繰り返します。

■電源起動後の状態について

●SDU-B202は、停止後・電源OFF後もリピート・ランダムの状態を前回の設定で記憶しています。



「リピート・ランダム」は
前回電源OFF時の設定

Bluetooth®音源を再生する

Bluetooth の操作説明

●次の手順で再生してください。

1.音量を0にする

□本機及びSDU-B202の音量を全て0にしてください。

⚠ 注意 **各音量を最小にせずに電源を入れると、突然大きな音が出力され、聴力障害などの原因になることがあります。**

2.電源を入れる

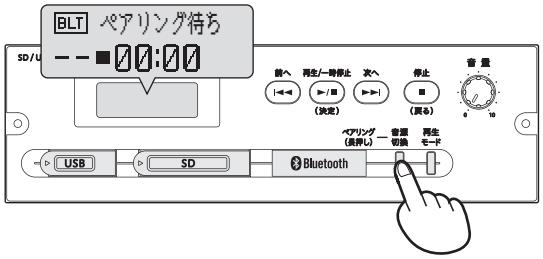
□本機の電源スイッチを押して電源を入れ、本機の電源表示灯が点灯していることを確認してください。

3.Bluetooth機器と接続する

□音源切換ボタンを押し、左上アイコンを BLT にします。
「ペアリング待ち」表示になるので、

・未ペアリングのBluetooth機器と接続する場合は、まずペアリングを行なってください。

・ペアリング済みのBluetooth機器を接続する場合は、Bluetooth機器側で接続先に「SDU-B202」を選択してください。



※本機の電源を切ると、Bluetooth機器との接続は解除されます。
次回お使いの際は、再度接続してください。

※SDU-B202と同時に接続できるBluetooth機器は1台です。

■スタンバイモードについて

●「ペアリング待ち」表示後3分経過するとスタンバイモードとなり、「未接続」表示となります。
この状態からペアリングをする場合は、[音源切換]ボタンを長押しして、ペアリングモードにしてください。

●スタンバイモード（「未接続」表示状態）でも、ペアリング済みの機器とは、接続可能です。

4.Bluetooth機器から操作する

□ペアリングが完了し接続されると、[BLT]アイコンが反転し、5秒間、接続機器名が表示されます。その後、Bluetooth機器の音楽プレーヤーアプリが起動していれば、選択中の曲のタイトルが表示されます。

□曲のタイトル表示中に再生モードボタンを押すと、接続機器名表示と切り換わります。

※音楽プレーヤーアプリを起動していない場合は、空欄表示、もしくは「Not Provided」などの表示となります（機器やアプリによる）。

□Bluetooth機器側で、再生/停止などの操作を行うと、SDU-B202の再生表示アイコンも変わり、時間表示が動きます。また本機側で、再生、停止、曲送り、曲戻しが出来ます。

※停止を押すと、一時停止となります。

※制御や表示（時間、曲タイトル、アイコン）ができるかどうかについては、お使いのBluetooth機器のAVRCPのバージョンおよび使用している音楽プレーヤーアプリによります。制御や、表示ができない場合でも、故障ではありません。

Bluetooth®音源を再生する

Bluetooth の操作説明

■Bluetoothで接続した機器の音源ファイル再生について

●AVプロファイルの種類やバージョンによって、操作できる機能や表示される内容は異なります。

接続プロファイル	音楽伝送	選曲操作	情報表示
A2DP	対応	非対応	非対応
A2DP+AVRCP Ver.1.0		一部対応	
A2DP+AVRCP Ver.1.3			一部対応
A2DP+AVRCP Ver.1.4			

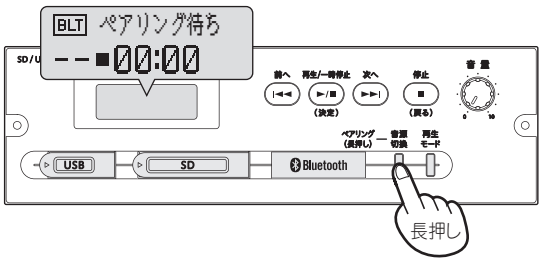
※上記の表で「対応」になっていても、ご使用のBluetooth機器によっては、使用できない機能や制限事項があります。
AVプロファイルの種類やバージョンによって、操作できる機能や表示される内容は異なります。
A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）とは、音声をワイヤレスで伝送するためのプロファイルです。
AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）とは、楽曲の選曲操作や情報表示をするためのプロファイルです。
A2DP+AVRCP接続の場合でも、機種により操作できない場合や、取扱説明書に記載された内容とは異なる動作をする場合があります。

接続を解除し別の機器と接続する

※接続を解除する方法は2つあります。
状況に適した方法をお選びください。

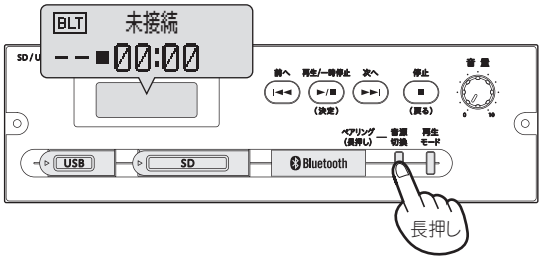
方法1：音源切換ボタンを長押しする

□音源切換ボタンを長押しすると、接続を解除し、「ペアリング待ち」表示に変わります。
再度ペアリング作業を行うか、ペアリング済みのBluetooth機器と接続してください。



方法2：Bluetooth機器のBluetooth機能をOFFにする

□お使いのBluetooth機器と本機の接続を解除すると、スタンバイモードとなり、「未接続」表示となります。
・ペアリング済みのBluetooth機器であれば、この状態で接続可能です。
・未ペアリングのBluetooth機器と接続する場合は、音源切換ボタンを長押しして、再度ペアリング作業を行ってください。



自動再接続機能を使用する

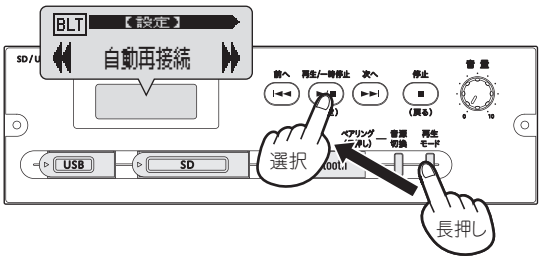
Bluetooth の操作説明

●本機の電源ONと同時に、一番最後に接続していたBluetooth機器と自動で再接続する機能です。
●自動再接続機能を使用するには、ペアリング済みのBluetooth機器が必要です。

自動再接続機能を使用する

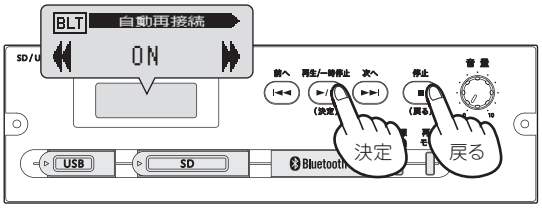
1.設定メニューに入る

□再生モードボタンを長押しして、設定メニューに入った後、再生ボタンを押すと、自動再接続設定メニューに入ります。
停止ボタンを押すと、設定メニューから元の画面に戻ります。



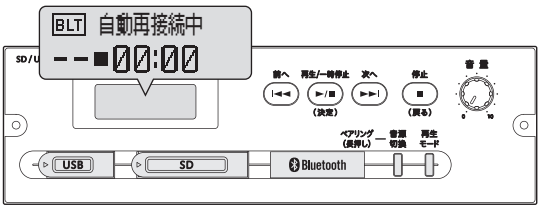
2.自動再接続機能をONにする

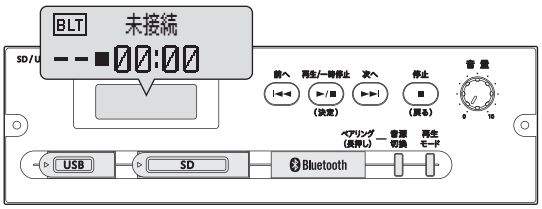
□スキップ/サーチボタンを押し、自動再接続機能のON/OFFを切り換えてください。
再生ボタンを押すと、設定が保存されます。停止ボタンを押して、元の画面に戻ってください。



3.Bluetooth機器と接続する

□電源をＯＮにして音源をBluetoothに切り換えると、「自動再接続中」表示となり、最後に接続していたBluetooth機器が通信範囲にある場合は、自動で再接続します。
※通信範囲にない場合、3分経つとスタンバイモードとなり、「未接続」表示となります。





□最後に接続していたBluetooth機器とは別の機器に自動接続したい場合は、一旦現在の接続を解除し、別の機器と接続した状態で電源を切ってください。

自動再接続機能を使用する Bluetooth の操作説明

■接続状態の保持機能について

●Bluetooth機器を接続したままで音源をSD/USBに切り換えても、Bluetooth機器との接続は継続しています。

Bluetooth機器で音源を再生中の場合、音源をSD/USBからBluetoothに再度切り換えたタイミングでBluetooth機器の音が鳴ります。

急に音が鳴ると困る場合は、Bluetooth機器側で再生を一時停止しておくか音量を下げる、もしくは本機及びSDU-B202側で音量を0にするなどの対応をしてください。

■音源の選択状態保持機能について

●SDU-B202は、電源を切る直前の音源選択を記憶しています。

電源ON時には、電源を切る直前に選択していた音源が自動で選択されます。

電源を切る直前にBluetooth音源を選択しており、かつ自動再接続がONの場合、Bluetooth機器で再生中の音源が急に鳴る場合がありますので、ご注意ください。

音声が途切れた時は Bluetooth の操作説明

●Bluetooth機器は無線機器であるため、お使いのBluetooth機器と本機が離れた場合、もしくは何かの障害物が間を隔てた場合に電波が途切れ、音声が出力されなくなることがあります。その場合は、お使いのBluetooth機器を近づけていただくか、間を隔てている物を移動させてください。

※お使いのBluetooth機器を近づけていただく、もしくは間を隔てている物を移動させていただくと、音声出力は復帰しますが、Bluetooth機器によっては、電波が途切れた時点で音声出力を一時停止するものがあります。
本機ディスプレイの音源表示が「Bluetooth接続済」になっているのに音声を出力しない場合は、お使いのBluetooth機器をご確認ください。

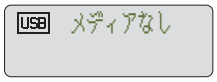
ご注意

●Bluetoothは2.4GHzという周波数帯の無線を使用しています。
電子レンジや無線LANなどが同じ周波数帯を使用しているため、混信等が発生し、電波が途切れたり、ノイズが発生したりすることがあります。
電子レンジや無線LANなどの機器から、10m以上離してお使いください。

エラーメッセージの説明

Bluetooth の操作説明

●エラーメッセージが表示された場合は、下記を参照し、エラーの内容を確認してください。

表　示　部	対　　策　/　**【表示内容】**
	**【メディアなし】**　内容…SDカード/USBメモリーの未挿入 SDカード/USBメモリーが挿入されていません。 SDカード/USBメモリーを挿入してください。
	【非対応USB】　内容…非対応USB機器の接続、USBメモリーの故障 SDU-B202で使用できないUSB機器が接続されているか、USBメモリーの故障です。 電源を切り、USB機器を外してください。 27頁に記載のUSBメモリーをご使用ください。
	【NO DATA】　内容…SDカード/USBメモリーに音源ファイルなし SDカード/USBメモリーに音源ファイルが入っていません。 データの転送をするか、他のSDカード/USBメモリーと交換してください。
	【ERROR/No.001】　内容…SDカード/USBメモリーの異常 このエラーNo.を表示している場合は、本機の電源スイッチを切り、再度電源を入れてエラーを解除してください。 それでもエラー表示が続く場合は、SDカード/USBメモリーのデータが消滅しても問題のない事を確認し、パソコンなどでフォーマットしてください。 SDXCカードを挿入した場合も、このエラーNo.が表示されます。 SDカードの種類もご確認ください。
	【ERROR/No. □□□ 】　内容…本機のシステムエラー 「No.001」以外のエラーNo.を表示している場合は、本機の電源スイッチを切り、再度電源を入れてエラー表示を解除してください。 エラー表示が続く場合は販売店や工事店などにご連絡ください。 そのときはエラーNo.をお伝えください。

点検方法

ほんのちょっとしたことで正常に動作せず、故障かな？と思うことがあります。次の要領で点検してみてください。

⚠警告

- ●次の方法で点検されても正常に動作しないとき、または使用中に急に異常が発生したときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙などの異常が無いことを確認し、販売店などへご連絡ください。
- ●**本機は絶対に分解しないでください。感電の恐れがあります。修理は必ず販売店などにご依頼ください。**

症　状	点　検　項　目	対　策
全く動作しない	電源が接続されていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源表示灯が点灯していますか。	電源スイッチを入れてください。
	電源スイッチは入っていますか。	電源スイッチを入れてください。
	各音量調節つまみが絞られていませんか。	各音量を適当な音量に調節してください。
有線マイクの音声が出ない	マイクのトークスイッチは入っていますか	マイクのトークスイッチを入れてください。
	マイクプラグは確実に差し込まれていますか。	確認してください。
	マイクは正常ですか。	他のマイクと交換してください。
	マイク音量調節つまみが「0」位置になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
スピーカーより音が出ない	スピーカー接続コネクターは確実に接続されていますか。	確認してください。
	スピーカー出力つまみが「0」位置になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
音がわれる	出力レベルメーターの赤色LEDが常時、点灯していませんか。	赤色LEDが常時、点灯しないように音量を調節してください。
音質がおかしい	正しくイコライザーが使用されていますか。	イコライザー調節つまみの説明をよく読んで調節してください。
雑音が出る	本機やスピーカーコード、マイクコードなどがノイズを発生する機器の近くにありませんか。	ノイズを発生する機器から遠ざけてください。
外部機器の音が出ないまたは小さい	接続機器及び本機の入力音量調節つまみが「0」位置になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
	接続機器のレベルは合っていますか。	ライン入力の説明をご覧ください。

ワイヤレスチューナー部

症　状	点　検　項　目	対　策
全く動作しない	電源が接続されていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源表示灯が点灯していますか。	電源スイッチを入れてください。
ワイヤレスマイクの音声が出ない	マイクのトークスイッチは入っていますか	マイクのトークスイッチを入れてください。
	マイクの電池は入っていますか。	確認と同時に電池の消耗もチェックしてください。
	マイクとチューナーユニットの周波数は同じですか。	グループ／チャンネル番号を確認してください。
	デッドポイントの位置ではありませんか。	確認してください。
	ワイヤレスチューナーユニットの音量調節つまみが絞られていませんか。	適当な音量に調節してください。

SD/USB/Bluetooth®プレーヤー部 [CGA-200B]

SD/USB

症　状	点 検 項 目 **[表 示 部]**	対　策
全く動作しない。 再生できない。	本機の電源が接続されていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	ディスプレイ表示灯が点灯していますか。	電源スイッチを入れてください。
	SDカード/USBメモリーが入っていますか。**【メディアなし】**	SDカード/USBメモリーを挿入してください。
	SDカード/USBメモリーに転送したデータのファイル形式は正しいですか。**【NO DATA】**	MP3形式の音源ファイルを使用してください。
	SDカード/USBメモリーのフォーマット形式は正しいですか。**【ERROR/No.001】**	41頁の説明をご覧ください。また、28頁の説明に従ってフォーマットしたSDカード/USBメモリーを使用してください。
	パスワードロック機能付のUSBメモリーを使用していませんか。**【NO DATA】**	パスワードロック機能が付いていないUSBメモリーを使用してください。
演奏時間は進んでいるが音声が出てこない。	音量調節つまみが「0」位置になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
SDカード/USBメモリーが入らない。	本機の中にSDカード/USBメモリーが入っていませんか。	SDカード/USBメモリーを取り出してください。
	SDカードを裏表逆に入れていませんか。	SDカードのレーベル面を上にして入れてください。
	USBメモリーのUSB端子の向きを逆に入れていませんか。	USB端子の向きを確認し、向きを合わせて挿入してください。
曲名などが文字化けして表示される。	ID3タグのバージョンがID3v2.4になっていませんか。 もしくは、曲名などを入れる際、文字コードの設定が「UTF-8」になっていませんか。	ID3タグのバージョンをID3v2.3にして、曲名などを入れてください。 また、曲名などを入れる際、文字コード設定は「UTF-16」で入力してください。

Bluetooth

症　状	点 検 項 目	対　策
再生ボタンを押しても再生しない。	Bluetooth機器側のOSのバージョン、AVRCPのバージョンが古くありませんか。動作させているアプリが非対応ではありませんか。	Bluetooth機器側で再生してください。 Bluetooth機器やアプリを変更してください。
曲送り、曲戻しボタンを押しても、動作しない。		
停止ボタンを押しても止まらない。		
早送り、早戻しが動かない。	Bluetooth機器側のOSのバージョン、AVRCPのバージョンが古くありませんか。動作させているアプリが非対応ではありませんか。	Bluetooth機器側で早送り等を行ってください。 ※早送り、早戻しは、対応機種・アプリが少ない状況です。
状態表示アイコン表示が早送りに変わっても、早送りなどにならない。		
状態表示アイコンが早送り・早戻しに変わらない。		
曲のタイトル（ファイル名）が表示されない。 Bluetooth機器名表示が表示されない。	Bluetooth機器側のOSのバージョン、AVRCPのバージョンが古くありませんか。動作させているアプリが非対応ではありませんか。	Bluetooth機器またはアプリを変更してください。
	曲のタイトル（ファイル名）またはBluetooth機器名に、本機対応文字以外（中国語等の文字等）をご使用ではありませんか。	曲のタイトル（ファイル名）またはBluetooth機器名を変更してください。
曲のタイトル（ファイル名）が急に表示されなくなった。	なし	Bluetooth機器を再起動してください。 Bluetooth機器やアプリを変更してください。
音源を再生しても、音源は鳴動しているが、状態表示アイコンが■のまま、変化しない。	Bluetooth機器側のOSのバージョン、AVRCPのバージョンが古くありませんか。動作させているアプリが非対応ではありませんか。	状態表示アイコンは無視して、Bluetooth機器側で、動作させてください。
再生モード表示アイコンが出ない。	Bluetooth機器側のOSのバージョン、AVRCPのバージョンが古くありませんか。動作させているアプリが非対応ではありませんか。	Bluetooth機器やアプリを変更してください。 ※再生モード表示は、対応機種・アプリが少ない状況です。

点検方法

症　状	点 検 項 目	対　策
曲の切換時、状態表示アイコンが少しの間、一時停止になる。	なし	Bluetooth機器側で一時停止状態の情報が送信されているためです。故障ではありません。
停止ボタンを押しても、一時停止になる。	なし	本機の仕様となっております。
再生モードボタンを押しても、再生モードが切り換わらない。	なし	Bluetooth音源再生時は、Bluetooth機器側の再生モードで動作し、本機からは制御できません。再生モードボタンは、機器名表示/曲タイトル表示の切換ボタンとなっています。
再生モードアイコンが、Bluetooth機器側の状態と異なる。	Bluetooth機器側のOSのバージョン、AVRCPのバージョンが古くありませんか。動作させているアプリが非対応ではありませんか。Bluetooth機器がWindowsPCではありませんか。	Bluetooth機器やアプリを変更してください。WindowsPCの場合は、再生モードにかかわらず、ランダム再生の表示情報を送信しているため、対処できません。本機ではなく、Bluetooth機器側の表示を確認してください。

著作権法について

■あなたが本機を利用して著作権の対象となっている著作物を複製、編集などしたものや、他人の講演などを録音したものは、個人として楽しむなどの他は著作権法上、権利者に無断で使用できません。

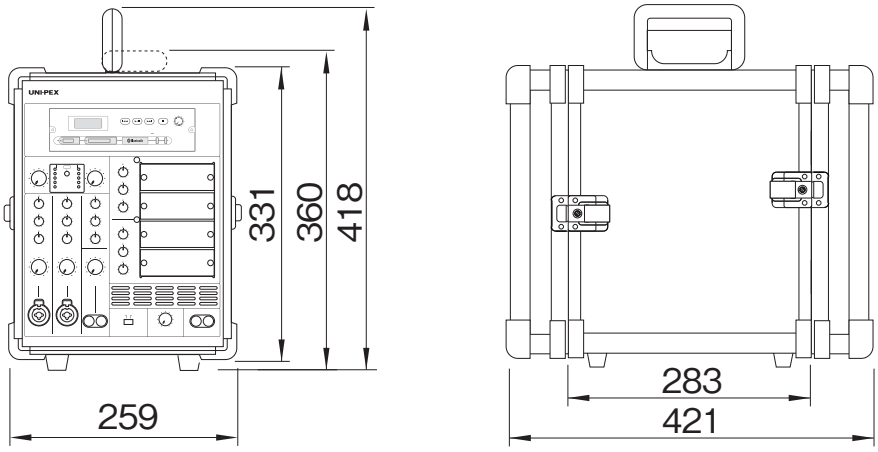
●放送コード、CD、その他の録音物や他人の演奏などは、音楽の歌詞・楽曲と同じく著作権法により保護されています。従って、個人使用の範囲を超えて、それらを録音、編集して、販売・レンタル・譲渡したり、営利のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
●詳しい内容や、著作権物に関する許諾のための手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお問い合わせください。

定格

品番	CGA-200B	CGA-200
使用電源	AC100V 50/60Hz	
定格消費電力	75W（電気用品安全法による測定方法に基づく）	
消費電流	AC3.9A(定格出力時)	
定格出力	100W（4Ω）×2	
出力負荷インピーダンス	4Ω(4～16Ωスピーカー使用可能)×2 不平衡	
録音出力	−10dBV 2.2kΩ 不平衡	
ライン出力	0dBV 600Ω 不平衡	
ひずみ率	5%以下(1kHz 定格出力時)	
周波数特性	50Hz～18kHz ±3dB(ライン入力 定格出力−10dB時) 100Hz～10kHz ±3dB(マイク入力 定格出力−10dB時)	
音質調節	低音:100Hz ±10dB （1kHz基準）※1 高音:10kHz ±10dB （1kHz基準）※1	
入力感度及びインピーダンス	マイク 1、2：−62dBV 600Ω 電子平衡 音量調節器付 ライン：−22dBV 10kΩ 不平衡 音量調節器付	
信号対雑音比	65dB以上	
アンテナ入力	BNCコネクター×2 アンテナ感度切換スイッチ付 ファンタム電源送り(簡易型ワイヤレスアンテナ取付可能)	
動作表示	電源：LED(緑:通常 赤:異常時)、出力表示：LED(緑×4／赤×1) 2系統	
付帯機能	オートマチックフェーダー機能(減衰量調節付)：マイク、ユニット❶～❹入力によりライン、SD/USB/Bluetooth®プレーヤーユニット音量が減衰 モノラル/ステレオ切換：ライン入力、SD/USB/Bluetooth®プレーヤーユニットと録音出力がモノラルまたはステレオの入力出力に切換可能 バランス調節：入力毎※1にスピーカー1／2への出力バランスの調節が可能 高音音質調節：入力毎※1に高音の音質調節が可能 低音音質調節：入力毎※1に低音の音質調節が可能 ※1（マイク❶専用、マイク❷専用、ライン入力とSD/USB/Bluetooth®プレーヤーユニット（CGA-200Bのみ）兼用、ユニット❶と❷兼用、ユニット❸と❹兼用）	
使用温度範囲	0℃～+40℃	
外装	パネル(鋼鈑)：マンセルN1 近似色 ブラック 半艶塗装 ケース(アルミニウム製)：アルマイト仕上げ シルバー	
寸法	幅259mm 高さ418mm（取手横倒し時360mm） 奥行421mm	
質量	約9.7kg	約9.1kg
付属品	取扱説明書 1、AC接続コード 1、コードクランプ 1	

SD/USB/Bluetooth®プレーヤー部	
表示	動作表示：液晶表示 バックライト：発光ダイオード 黄緑
適合SDカード	SDA準拠SD/SDHCカード（容量32GBまで）※SDXC、SDUCは非対応
適合USBメモリー	USBマスストレージクラス準拠USBメモリー（容量32GBまで）
ファイルシステム	FAT16、FAT32
ファイル保存最大数	999（メディアの容量およびファイルに依存）
フォルダー識別最大数	999（ルートディレクトリを含む）
音声圧縮伸長方式	MP3形式（MPEG1 Audio Layer3）
再生ビットレート	MP3形式 32kbps～320kbps
通信方式	Bluetooth
出力	Bluetooth Power Class 1（10mW）
通信距離	最大10m（使用環境によって異なります）
対応プロファイル	A2DP、AVRCP
対応コーデック	SBC
周波数特性	20Hz～20kHz
S／N比	70dB以上
ダイナミックレンジ	65dB以上
ひずみ率	0.2%以下
選曲	前後1曲
付帯機能	リピート選択（1曲リピート、全曲リピート、リレー、ランダム）、経過時間表示、一時停止、スキップ機能、 早送り早戻し機能、自動バックライトオフ機能

外観寸法図 (単位 : mm)



SDカード/USBメモリーファイルリスト

●SDカード/USBメモリーの曲目（ファイル名）やプログラム登録された内容を下表に記録してご使用ください。
内容の変更が予測される、曲目が多いなどの場合はコピーしてご利用ください。

■SD/USB/Bluetooth®プレーヤー部

SDカード/USBメモリー名称 ：

No.

トラック番号	曲目(ファイル名)	(時間)分：秒	
01		:	
02		:	
03		:	
04		:	
05		:	
06		:	
07		:	
08		:	
09		:	
10		:	
11		:	
12		:	
13		:	
14		:	
15		:	
16		:	
17		:	
18		:	
19		:	
20		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	

サポートのご案内

■ **修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。**
販売店に修理を依頼する場合は、下記の項目をお確かめください。
①品　名　②品　番　③お買い上げ日　④故障の状況（できるだけ具体的にお願いします）

■ **販売店がご不明な場合は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。**

営業所情報はホームページ
もしくは2次元コードにアクセス
してください。
https://www.unipex.co.jp

■ **その他ご不明な点は、お客様ご相談センターへご相談ください。**

UNI-PEX お客様ご相談センター
0120-56-5245（通話料無料）
受付時間／9:00～17:00（土・日・祝日除く）
携帯電話からのご利用は、
072-855-3334（通話料がかかります）

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】
お客様ご相談センターにおけるお客様の個人情報は、ご相談対応、修理およびその確認に使用いたします。個人情報は適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供または開示いたしません。

キャリングアンプ CGA-200B、CGA-200

保証書

製造番号	
保証期間	お買い上げ日 年　月　日より 電子回路部1ヶ年、ケース（外装部）6ヶ月
お客様	お名前　見本　様 ご住所〒 電話（　）　-
販売店	店名・住所 印 電話（　）　-

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。
お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 日本電音株式会社
発売元 ユニペックス株式会社

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
（This warranty is valid only in Japan）

無料修理保証の範囲
①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
②修理の際は必ず保証書の提示があること。
③当保証書の所定項目に必要事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

無料修理保証の免責範囲
（次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。）
①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
②不当な修理改造による故障、損傷。
③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
④お買上げ後の落下、傷など、お取り扱い上に起因するもの。
⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。

外部機器接続例（前面）

■接続例のセット内容
・キャリングアンプ　CGA-200B
・800MHz帯ワイヤレスチューナーユニット
DU-8200・・・・2台
・800MHz帯ワイヤレスマイクロホン
WM-8400・・・・2台
・300/800MHz帯兼用ワイヤレスアンテナ
AA-382・・・・2本
・ダイナミックマイクロホン
MD-56T・・・・2本

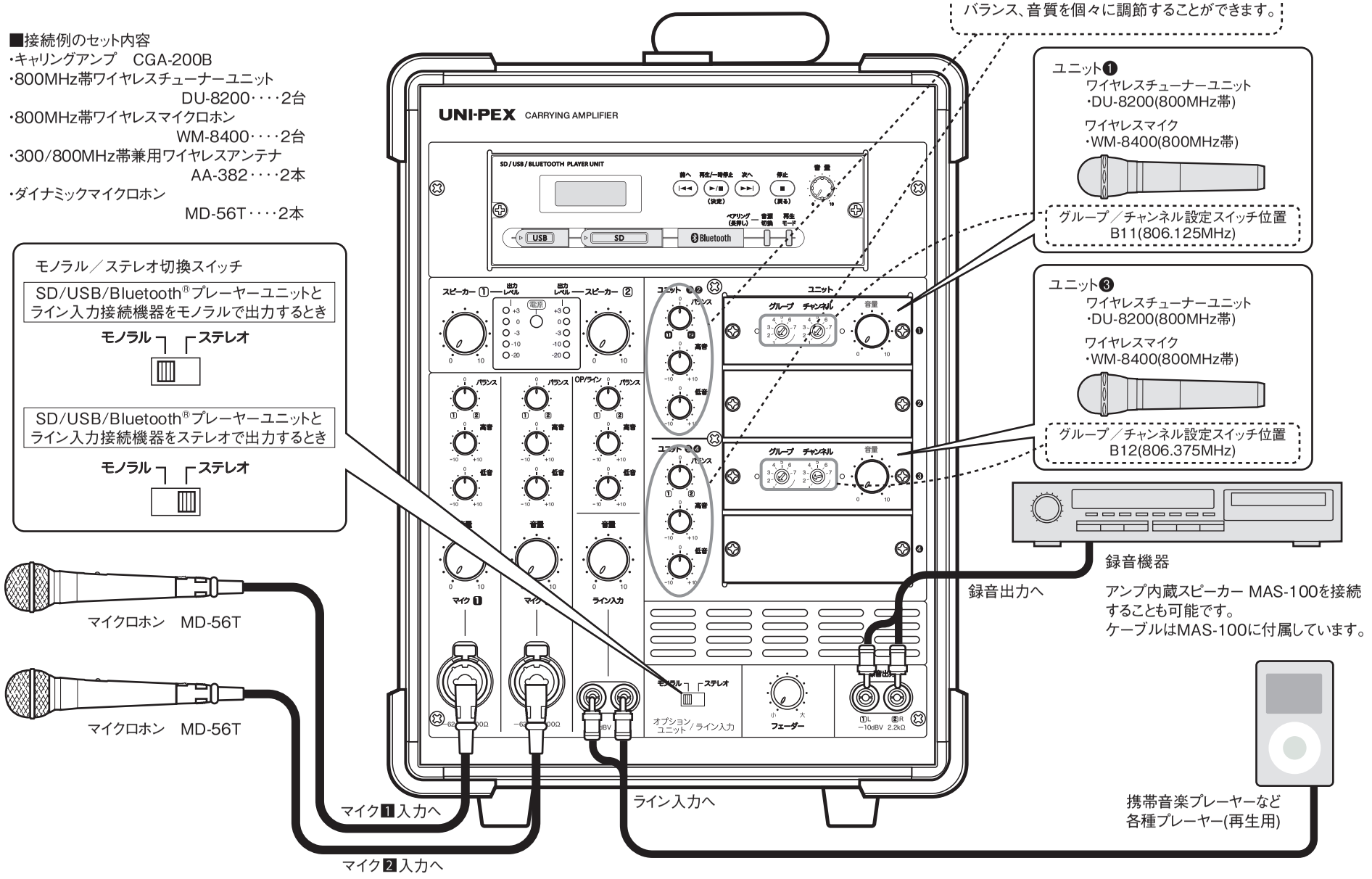
モノラル／ステレオ切換スイッチ

SD/USB/Bluetooth®プレーヤーユニットと
ライン入力接続機器をモノラルで出力するとき

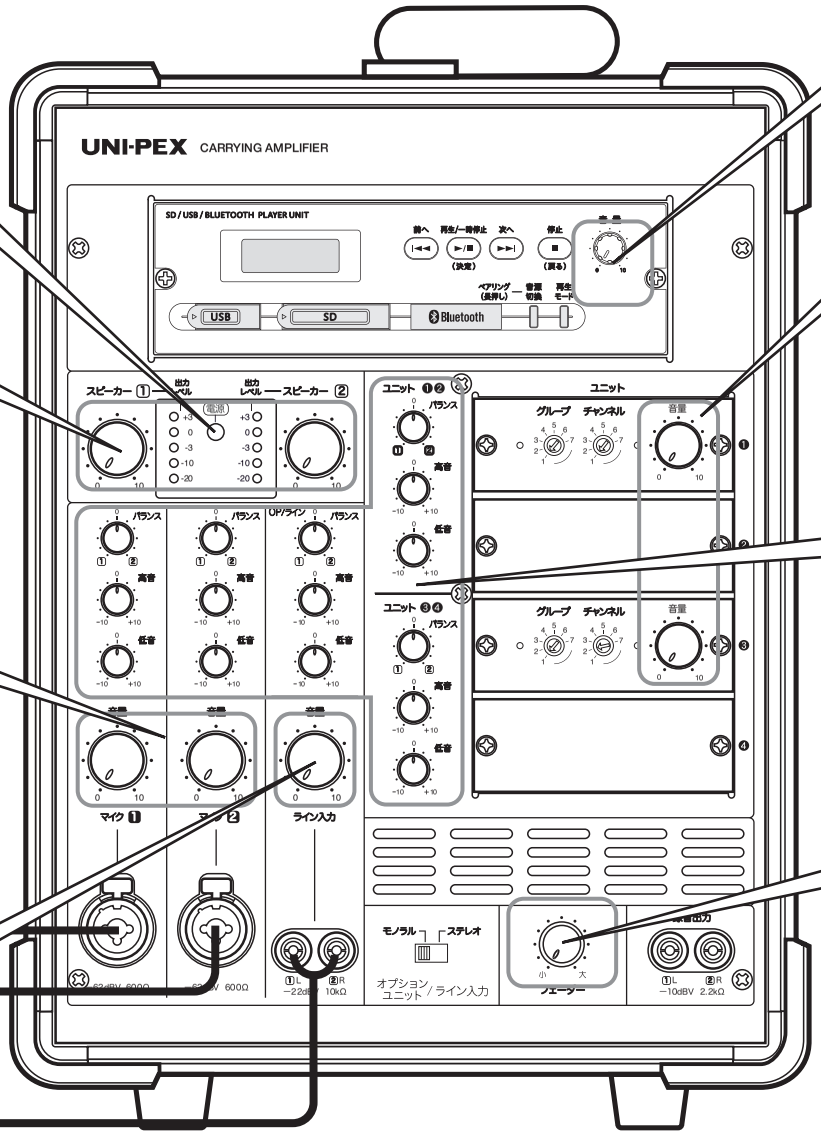
モノラル　ステレオ

SD/USB/Bluetooth®プレーヤーユニットと
ライン入力接続機器をステレオで出力するとき

モノラル　ステレオ



各調節つまみの基本的な設定

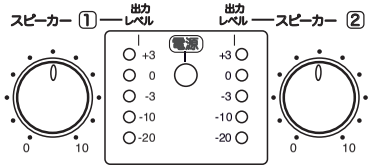


1

すべての音量調節つまみを「0」位置にし、後面パネルの電源スイッチを押して電源を入れてください。電源表示灯が緑色に点灯します。

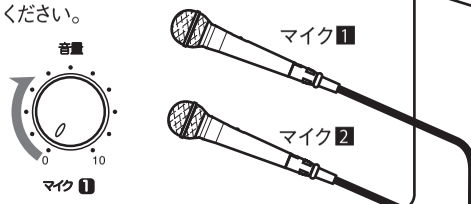
2

スピーカー1 2 音量調節つまみを中心位置にしてください。



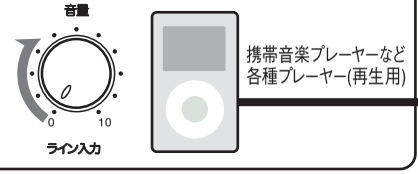
3

マイク❶とマイク❷音量調節つまみを時計方向にまわし、マイクロホンの音量を調節してください。



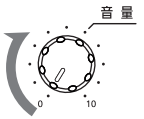
4

ライン音量調節つまみを時計方向にまわし、接続機器の音量を調節してください。



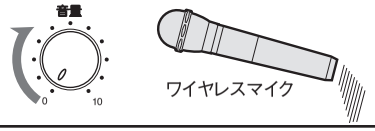
5

SD/USB/Bluetooth® プレーヤーユニットの音量調節つまみを時計方向にまわし、音量を調節してください。



6

ワイヤレスチューナーユニットの音量調節つまみを時計方向にまわし、ワイヤレスマイク音量を調節してください。



7

それぞれのバランス、音質調節つまみを適切な位置に調節してください。
特にバランス調節つまみは調節の必要がないときには、必ず中央位置にしてご使用ください。

8

フェーダー減衰量調節つまみを時計方向にまわし、減衰量を調節してください。
(P6のオートマチックフェーダー回路についてをご覧ください。)

矢印の方向にまわすとマイク系入力使用時にミュージック出力の減衰量が増します

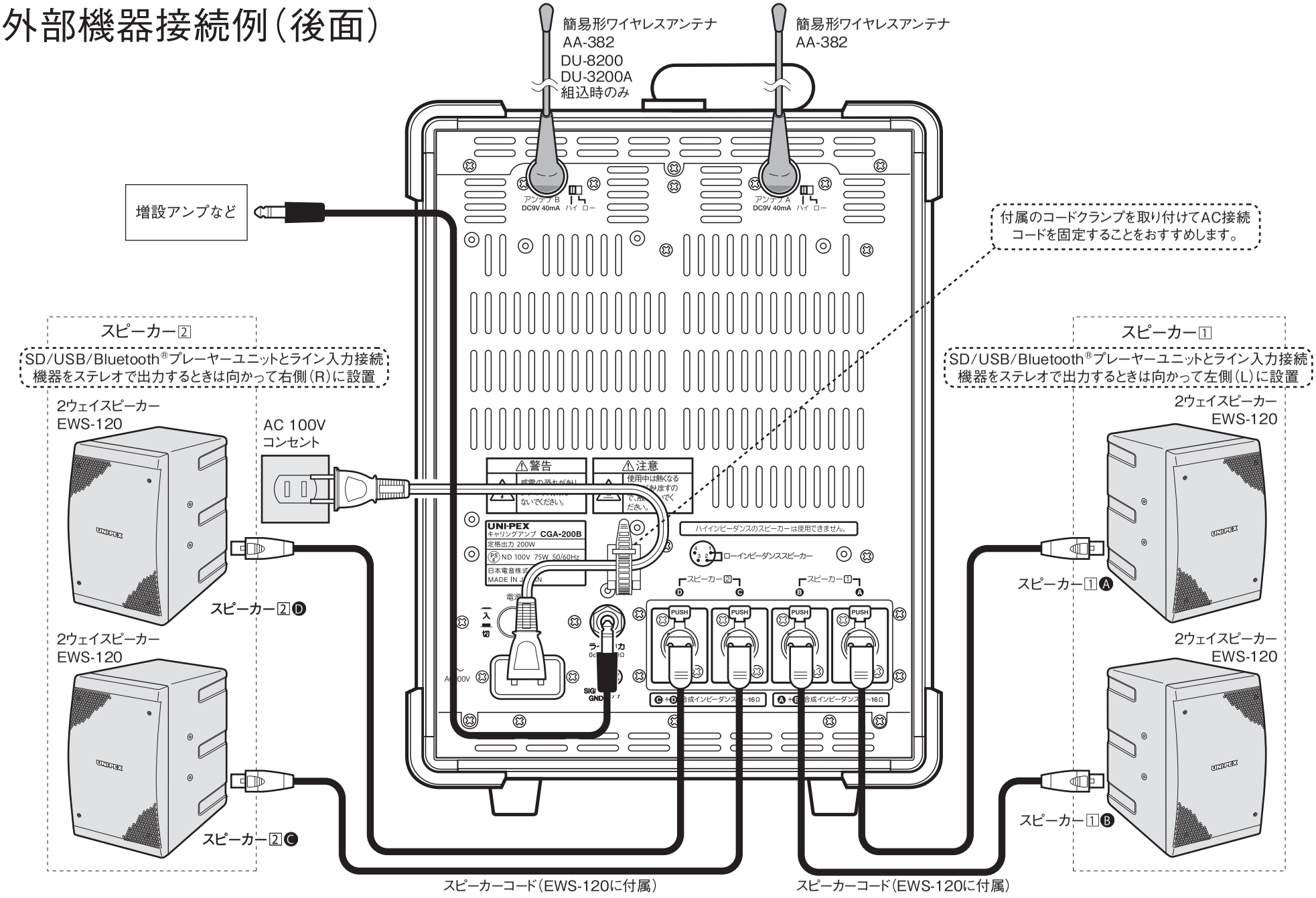
9

スピーカー1 2 音量調節つまみで全体の音量を再度調節してください。

このページを切り取って透明ケースなどに入れ、本機を使用されるときにお役立てください。

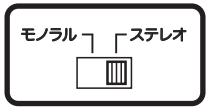
このページを切り取って透明ケースなどに入れ、本機を使用されるときにお役立てください。

外部機器接続例（後面）



モノラル／ステレオ切換スイッチ

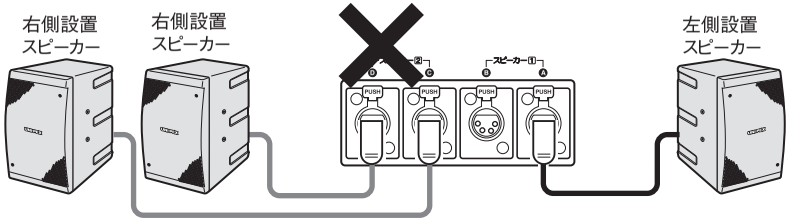
「ステレオ」設定時のご注意



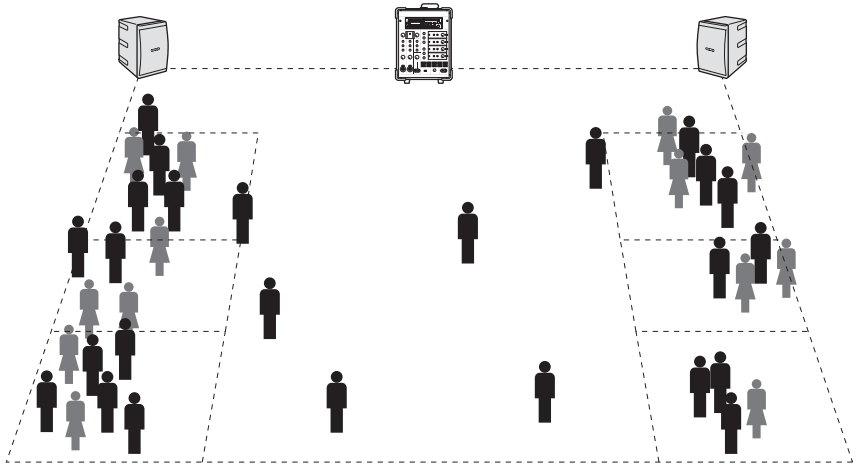
「ステレオ」側に設定される場合は、L/R両チャンネルの音声が均一に聞こえる様にスピーカーを設置してください。
次の(1)～(3)ような場合に「ステレオ」側に設定されますとL/R両チャンネルの音声が均一に聞こえません。必ず「モノラル」側に設定してください。

(1)モノラル機器をライン入力の片方の端子に接続

(2)スピーカーを3台接続



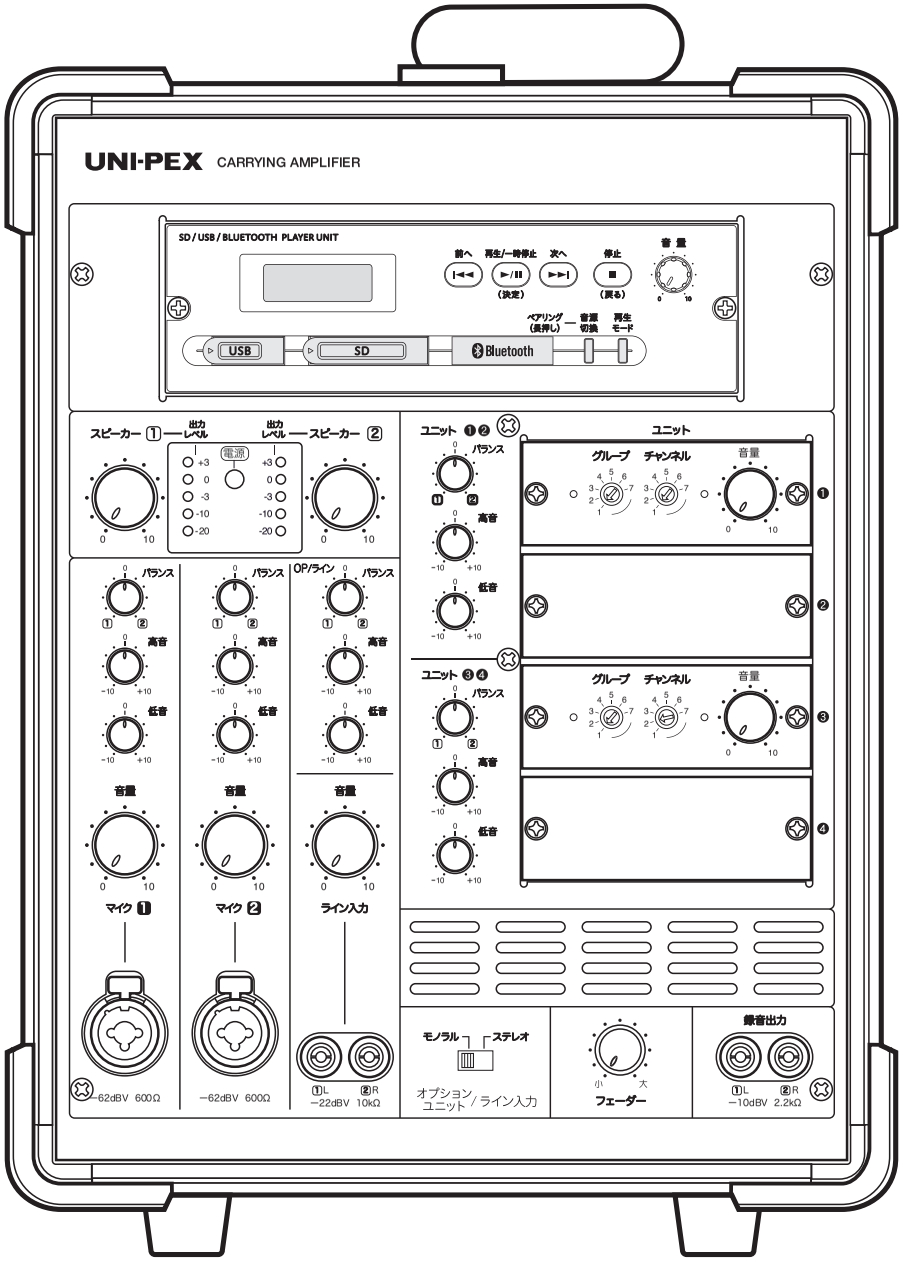
(3)聴衆が両スピーカーの中心付近に居ない、または絶えず移動している場所での使用



各調節つまみの記録

催し名:　　．　．　．

次回の催しのために各調節つまみの位置をカラーペンなどで記録しておいてください。
コピーしてご利用されることをおすすめします。



このページを切り取って透明ケースなどに入れ、本機を使用されるときにお役立てください。